

## 令和3年度事業実績

### 1 利用者の状況

#### (1) 施設区分・年度別利用者数

(単位：人)

年度	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3
ホール	111,659	122,060	95,272	18,866	37,897
多目的プラザ	26,894	26,328	21,313	7,574	13,416
練習室	25,041	20,844	13,540	4,360	7,887
科学体験室(厚木)※1	950	541	1,204	338	648
研修室	7,565	9,708	7,024	1,217	2,060
屋上(星空教室、高校生天文講座、天文研究クラブ)	591	797	597	281	528
演劇資料室	2,475	2,988	2,445	1,129	1,566
子ども・若者総合相談センター(ひきこもり地域支援センター) 面接相談	1,179	1,124	726	85	157
青少年サポートプラザ ※2	4,836	5,381	3,456	329	363
(登録団体による研修室利用)	(483)	(359)	(95)	(3)	
計 (a)	181,190	189,771	145,577	34,179	64,522
県西部青少年サポート相談室面接相談	73	79	78	84	92
神奈川県地域青少年相談窓口面接相談	73	64	110	92	98
学校等の施設利用 ※3	11,020	9,347	7,483	1,070	1,070
合計	192,356	199,261	153,248	35,425	65,782

※1 科学体験室は、平成30年10月に、科学部移転に伴い、厚木市に移転した。

人数は科学体験室での講座受講者数。

※2 平成26年3月末に別館の青少年サポートプラザを閉館し、本館に移設した。

※3 「学校等の施設利用」とは、神奈川県立青少年センター以外の施設(学校、市役所、公民館、野外施設など)で実施している講座や講演会などを記載している。

#### (2) 施設利用者の内訳

児童・生徒 (小学生～高校生)	一般	合計
22,654	39,782	62,436

(注) 面接相談、青少年サポートプラザ利用者、演劇資料室及び他の施設利用者数は、生徒・一般の区分は設けていないため、内訳集計から除いている。

## 2 事業の実施状況

### (1) 全館的事業

青少年センターの事業を円滑に運営するため庁舎諸施設の維持管理、人事、財産、予算経理等の管理事務及び県下に広く青少年センターの事業を周知するための広報活動事業を実施した。

#### ア 広報活動事業

##### (7) 行事紹介チラシの配布

青少年センターの行う事業を青少年・一般県民に広く周知し、利用促進を図るため、各課が作成した広報資料（印刷物）を同封し、全館広報として配布した。

平成30年度まで年間6回、令和元年度は年間5回、作成・配布している「青少年センターのお知らせ」チラシ・ポスターについては、新型コロナウイルス感染症拡大の状況に鑑み、令和3年5月号及び6月号のみ作成し配布した。

全館広報の配布月	配布先
5月、6月、10月、12月(年4回)	児童施設、図書館、小・中・高校、公共施設等、本庁、県出先機関、銀行、市町村、報道機関等

##### (イ) フェイスブックを用いた情報の発信

近年のソーシャルメディアの普及に伴い、新たな媒体を活用した積極的な情報の発信を行うことで、従来の利用者のみならず、新たな利用者層を開拓することを目的に、フェイスブックページを開設した。

開設日 : 平成27年2月21日

アドレス : <https://www.facebook.com/kanagawa0230>

#### イ 青少年センター子ども体験広場

開催日 : 1月23日(日) 中止

## (2) 青少年の体験学習を推進する人材の育成

人材の育成事業として、地域で青少年の支援・指導に関わる方や青少年行政・施設関係職員、そして青少年に関わる活動をしている若者を対象とした研修を実施した。研修にあたっては、自然体験、野外活動、環境学習等の多様な体験や群れ遊びの実践、そして仲間づくり・グループづくりに効果的なアイスブレイキングや様々なグループワークの体験、また、若者を対象とした研修では、実際に青少年センター事業である「子ども体験広場」や子どもキャンプの企画づくりをし、運営するなど、活動に必要な知識・技術を参加者自身が実践的・体験的に身につけ、参加する中で横のつながりを築くこともできる内容とした。

また、神奈川県青少年指導者養成協議会を運営し、県・市町村・青少年関係団体の連携を図るとともに、団体等への活動支援として協働での事業開催や講師派遣、青少年支援・指導者のための「日本の季節を美味しく楽しく遊文化（あそぶんか）」を作成し、ホームページで公開した。

区分	事業名	概要	対象者	参加者延べ数
<b>ア 青少年支援・指導者育成推進事業（※中止はすべて新型コロナウイルスの感染拡大防止のため）</b>				
(7) 青少年支援・指導者の育成	青少年指導員セミナー	地域県政総合センター等と共催で青少年指導員として地域で活動するための知識や技術を身につける。各地域の実状や要望に合わせたテーマを設定。(全3回)	青少年指導員	152人
	自然体験活動指導者セミナー	県内のフィールドを活用し、安全で楽しい野外活動を展開するために必要とされる基礎的な知識や技術を学ぶ。(日帰り2回+1泊2日1回)	青少年支援・指導者、教員、学生等	65人
	体験学習プログラムセミナー	子ども・若者のコミュニケーション能力や生き抜く力の向上をめざし、コミュニケーションの技法やアイスブレイキング等の多様な体験やワークショップを通して、青少年支援・指導者の総合的なスキルアップを図る。(日帰り5回) ※補正予算がつかず日帰り1回は実施しなかった。	青少年支援・指導者、教員、学生等	76人
	人材育成推進事業「ステップアップキャラバン」	指導者育成課の研修受講生を対象に、市町村や協力団体の実施する事業に講師として派遣し、実際の現場での指導を通して、知識や技能のスキルアップをはかる機会を提供した。	青少年センター研修受講生	76人

区分	事業名	概要	対象者	参加者 延べ数
	リードアップセミナー	新規青少年行政関係職員等を対象に、効果的な業務遂行に必要な基礎的知識と技能の向上、お互いのネットワークづくりを図った。(日帰り2回+1泊2日1回)	新転入青少年行政関係職員、青少年関係団体職員等	54人
	フォローアップセミナー	青少年行政等に関わる職員が効果的な業務の遂行に必要な能力の向上・知識技術の習得・ネットワーク化・情報交換の活発化を図った。(日帰り2回)	青少年行政関係職員、青少年関係団体職員等	19人
	子ども施設指導員セミナー	子ども施設(児童館等)の指導員向けに、子ども・若者が自ら成長するために必要な知識・技術の習得と能力の向上を図った。(日帰り4回)	青少年育成施設及び類似施設の職員	86人
	イベントボランティアセミナー	イベントの企画・運営方法を学び、実際に「青少年センター子ども体験広場」の企画・運営を体験することで、リーダーとしてのスキルアップを図り地域活動の活性化を目指す。(日帰り5回)※1回中止	ジュニア・リーダーや子どもと関わりのある高校生から大学生年代までの若者	59人
	キャンプ活動セミナー	レクリエーションや野外活動を通して、子どもとの人間関係づくりや子どもとの関わり方を学ぶ。(日帰り1回)	子どもと関わりのあるまたは関わろうとしている学生、子ども施設の職員等社会人(30歳未満)	13人
	子どもキャンププロジェクト	子ども対象のキャンプの企画・運営を体験し、子どもとの人間関係づくりや子どもとの関わり方を体験的に学ぶ。(日帰り5回+1泊2日1回)※日帰り1回、宿泊は中止	子どもと関わりのあるまたは関わろうとしている学生、子ども施設の職員等社会人(30歳未満)	30人
	ユースボランティアセミナー	地域で活動しているジュニア・リーダーや、青少年施設、子ども施設の職員等の社会人(29歳以下)を対象に、様々な体験を通して、野外活動、レクリエーション活動の知識や技術を習得し、地域や学校等で活躍できるボランティアの育成を図る。(日帰り1回、1泊2日1回)	中学生以上のジュニア・リーダーや子どもと関わりのあるまたは関わろうとしている学生や社会人(30歳未満)	23人

区分	事業名	概要	対象者	参加者 延べ数
(イ) 青少年育成のための実践的調査研究	活動に役に立つマニュアル・手引作成	青少年活動に役立つマニュアル・手引を作成する。青少年の体験活動を支援する大人向け、初心者向けのWebページ「日本の季節を美味しく楽しく遊文化」を作成した。	—	—
(ウ) 青少年支援・指導者、団体等への支援	青少年資料室の運営	青少年に関わる文献・資料・報告書等を整備して、青少年資料室を効率的に運営する。活動場所等についての情報を収集し、青少年支援・指導者及び青少年関係機関等への情報提供を図った。	—	—
	調査・アンケート実施	全研修事業の終了時に行っているアンケートから事業を評価し、事業改善につなげるとともに、参加者の事後アンケート調査や取材調査により、当該研修事業で学んだことを、業務でどのように活用しているかについてまとめ、研修事業実施報告書に記載し青少年関係機関へ提供した。	—	—
	活動支援	青少年関係機関等からの依頼に応じて、場の提供、講師・指導者の紹介・派遣、プログラム紹介・指導を随時行う。	青少年関係機関	講師紹介等1件 職員派遣6人
(エ) 青少年指導者養成推進事業	青少年指導者養成連携・調整 (神奈川県青少年指導者養成協議会事業)	青少年支援・指導者の育成及び活動の効果的推進を図るとともに、県・市町村・青少年団体の連携強化を図った。	協議会関係者	157人
	・青少年支援・指導者活動状況調査 ・青少年支援・指導者育成事業実施結果及び計画の調査	・各機関や団体が把握している青少年支援・指導者の活動状況について調査した。 ・各機関や団体が把握している青少年支援・指導者育成事業の取り組み状況、次年度計画等について具体的に調査した。	県・市町村・青少年関係団体	—
<b>イ 地域活動推進事業</b>				
(7) 子ども会大会	子ども会大会	子ども会活動の発展に資することを目的として県子ども会大会を開催する。(日帰り1回)	子ども会関係者、一般	9人
(イ) 元気な子ども・若者の地域活動調査事業	元気な子ども・若者の地域活動調査事業	人間関係の希薄化、地域力の低下、ライフスタイルの変化等に伴う、新たな課題に対応した子ども・若者に関わる地域活動について、先進的な事例を取材・調査し、その成果を広報誌「子ども会」を作成・3月に発行して広く周知した。また、指導者・育成者、リーダー層の研修事業等で活用した。	ジュニア、シニア・リーダー等の高校生以上の若者	27人

区分	事業名	概要	対象者	参加者 延べ数
(ウ) 地域活性化事業（市町村・団体協働事業）	地域活性化事業（市町村・団体協働事業）	地域で行っている青少年活動の活性化を図るために、市町村と協働で研修を実施した。 身近な公園で自然体験プログラム（小田原市青少年課） ジュニア・リーダー県大会（神奈川県子ども会連絡協議会）	子ども会指導者、子ども会役員、青少年指導員、ジュニア・リーダー	51人
<b>ウ 青少年行政総合推進事業</b>				
(ア) 中学生の主張 in かながわ	中学生の主張 in かながわ	次代を担う子どもたちが、広い視野と柔軟な発想や創造性をもとに、物事を論理的に考える力や自らの主張を正しく理解してもらおう力を身につけることを目的に、作文コンクールとその発表会を行った。	中学生	920人 (応募者)
(イ) 子ども・若者を理解するための講演会	子ども・若者を理解するための講演会	子ども・若者が直面する問題への理解を深め、地域や関係機関における取組みの促進を図るため講演会を開催した。	県民	40人
(ウ) 困難事例における専門家の助言指導	困難事例における専門家の助言指導	電話あるいは来所相談における困難事例について、専門家である精神科医による助言指導を実施した。	当センター 専門相談員、NPO 法人等相談担当者	2回

各事業の内容は次のとおりである。

## ア 青少年支援・指導者育成推進事業

### (7) 青少年支援・指導者の育成

#### a 青少年指導員セミナー

テーマ「コロナ禍でもたくましく生きる力を育む」

回数	期日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	6月1日(火) 認定NPO法人オーシャンファミリー	講師：認定NPO法人オーシャンファミリー 代表 海野 義明 氏	35人
2	9月29日(水) 青少年センター	講師：NPO法人湘南自然学校 チーフディレクター 原田 順一 氏	37人
3	10月2日(土) 青少年センター	講師：野外教育事業所ワンパク大学 代表 三好 利和 氏	80人

#### b 自然体験活動指導者セミナー

##### ① 野外活動編

テーマ「日帰りで学ぶ キャンプのいろは」

回数	期日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	6月26日(土) 川崎市黒川青少年 野外活動センター	プログラム体験 「コロナ禍でもできるアイスブレイキングゲーム」「ド ラム缶ピザづくり」 講師：川崎市黒川青少年野外活動センター 所長 野口 透 氏 小川 奈々代 氏 Bring Out the Best 佐久間 純恵 氏	25人

##### ② 秋編

テーマ「アウトドアあそび指導法講座」

回数	期日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	11月6日(土)～ 7日(日) 足柄ふれあいの村	プログラム体験「自然体験プログラム」 講義「インタープリテーション概論」「自然体験プログラム指導体験」 講師：野あそび保育ささはらつなぐガイド企画TORU・KORU 石川 昌稔 氏	22人

##### ④ 環境学習編

テーマ「プロジェクトWET エducator養成講座」

回数	期日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	11月28日(日) 青少年センター	プログラム体験「プロジェクトWET」「指導体験」 講師：(公財) 国際青少年研修協会事務局長 関 隆嗣 氏	18人

c 体験学習プログラムセミナー

テーマ「すぐに役立つアイスブレイキング」

回数	期日/場所	主な内容/講師	参加人数
1	7月29日(水) 青少年センター	アイスブレイキングの指導体験 担当：青少年センター職員	23人
2	8月1日(日) 青少年センター	アイスブレイキングのアクティビティ体験 担当：青少年センター職員	19人

テーマ「グループワークの活用法」

回数	期日/場所	主な内容/講師	参加人数
1	7月25日(日) 青少年センター	アイスブレイキング、コミュニケーションゲーム、イニシアティブゲームを選択制で体験してもらい、地域や学校で導入する方法について意見交換した。 担当：青少年センター職員	18人
	8月20日(金) 青少年センター	アイスブレイキング、コミュニケーションゲーム、イニシアティブゲームを選択制で体験してもらい、地域や学校で導入する方法について意見交換した。 担当：青少年センター職員	16人

d 人材育成推進事業「ステップアップキャラバン」

回数	期日/場所	主な内容/講師	参加人数
1	7月3日(土) 愛川ふれあいの村	愛川町ジュニア・リーダー・イン・リーダー研修会 ユースサポーター(以下YS) 指導内容：アイスブレイキングについて、ジュニア・リーダーへの指導	YS：3人 参加者：20人
2	7月10日(土)～ 11日(日) 小田原いこいの森	ユースボランティアセミナー YSの指導内容：アイスブレイキング、キャンプファイヤーの指導	YS：6人 参加者：16人
3	12月18日(土) 横浜能楽堂	ミニ門松作り YSの指導内容：ミニ門松作りの指導・サポート	YS：2人 参加者：40人

e リードアップセミナー

回数	期日/場所	主な内容/講師	参加人数
1	5月6日(木) 青少年センター	実習「アイスブレイキング体験」 担当：青少年センター職員 講演、ワークショップ「青少年育成の魅力とやりがい」 講師：公益財団法人よこはまユース 富岡 克之 氏	24人
2	5月20日(木)～ 21日(金) 愛川ふれあいの村	実習「アイスブレイキング体験」 実習「コミュニケーションゲーム体験」 実習「野外炊事・原始火おこし」 実習「自然体験プログラム体験」 担当：青少年センター職員	9人

回数	期日／場所	主な内容／講師	参加人数
3	6月4日(金) 青少年センター	実習「アイスブレイキング体験」 実習「かながわ青少年支援・指導者育成指針」 実習「イニシアティブゲーム体験」 担当：青少年センター職員 講師：公益財団法人藤沢市みらい創造財団 真壁 勇貴 氏 綾瀬市健康こども部こども未来課 向笠 葵 氏 愛川町教育委員会生涯学習課 谷島 花 氏	21人

f フォローアップセミナー

回数	期日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	2月18日(金) オンライン開催	講義・演習「伝わる話し方」 講師：フリーアナウンサー・スピーチトレーナー 坂本 奈津美 氏	9人
2	2月24日(木) オンライン開催	講義・演習「伝わるチラシの作り方」 講師：NPO法人さいたまNPOセンター 大工原 潤 氏	10人

g 子ども施設指導員セミナー

テーマ「つくって遊べる科学工作」

回数	期日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	7月8日(木) プロミティあつぎ	実習「科学実験ショー」 実習「科学工作 浮沈子、手書き3D、ペットボトル空気砲、 シャウティングチキン、リバーブマイク等」	24人
2	10月27日(水) 横須賀市役所	講師：青少年センター職員	23人

テーマ「コロナ禍でもできるアイスブレイキングゲーム」

回数	期日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	9月30日(木) 青少年センター	実習「アイスブレイキングゲーム、およびグループワークの体験」 講師：青少年センター職員	18人
2	11月19日(金) 小田原合同庁舎		21人

h イベントボランティアセミナー

回数	期日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	11月3日(水) 青少年センター	実習「アイスブレイキング」(ユース・リーダー) 実習「子どもフェスティバルのイベント作りを考える」 担当：青少年センター職員	11人
2	12月19日(日) 青少年センター	実習「アイスブレイキング」(ユース・リーダー) 実習「企画内容を深める・広げる。付箋を用いたブレインストーム」 担当：青少年センター職員	13人
3	1月9日(日) 青少年センター	実習「アイスブレイキング」(ユース・リーダー) 実習「企画のリハーサルとホール運営課による事前指導」 担当：青少年センター職員、ホール運営課職員	16人
4	1月22日(土)	※中止	-

回数	期日/場所	主な内容/講師	参加人数
5	3月27日(土) 青少年センター	実習「アイスブレイキング」(ユース・リーダー) 実習「1年間の振り返りと次年度に向けての意見交換」 担当：青少年センター職員	19人

i キャンプ活動セミナー

テーマ「なつキャン 2021」

回数	期日/場所	主な内容/講師	参加人数
1	9月5日(日) 青少年センター	実習「アイスブレイキング」「イニシアティブゲーム」 「グループワーク」 担当：青少年センター職員	13人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会場と内容を変更した。

j 子どもキャンプロジェクト

回数	期日/場所	主な内容/講師	参加人数
1	11月21日(日) 青少年センター	実習「オリエンテーション」「アイスブレイキング」 「グループワーク」「企画ミーティング」 担当：青少年センター職員	8人
2	12月12日(日) 青少年センター	実習「アイスブレイキング」「企画ミーティング」 担当：青少年センター職員	5人
3	1月16日(日) 厚木市七沢自然 ふれあいセンター	実習「アイスブレイキング」「会場見学」「企画ミーティング」 担当：青少年センター職員	9人
4	2月20日(日) 青少年センター	※中止	—
5	2月27日(日) 青少年センター	ふりかえり 担当：青少年センター職員 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会場と内容を変更した。	8人
6	3月6日(日) 青少年センター	※中止	—

k ユースボランティアセミナー

回数	期日/場所	主な内容/講師	参加人数
1	6月6日(日) 青少年センター	実習「アイスブレイキング」「アイスブレイキング指導体験」 「企画ミーティング」 担当：青少年センター職員	7人
2	7月10日(土)～ 11日(日) 小田原市いこいの森	実習「アイスブレイキング」「自然体験プログラム」 「コッフェルクッキング」「キャンプファイヤー」 「ニュースポーツ体験」 担当：青少年センター職員	16人

(イ) 青少年育成のための実践的調査研究

a 活動に役に立つマニュアル・手引作成

Web ページ「日本の季節を美味しく楽しく遊文化」の掲載

内 容 : 青少年の体験活動を支援する大人向け、初心者向けの Web ページ

配 布 先 : Web ページより PDF ファイルをダウンロード可

(ウ) 青少年支援・指導者、団体等への支援

a 青少年資料室の運営

青少年関係資料の整理・収集をし、青少年資料室にて提供した。

b 調査・アンケート実施

研修終了時に参加者を対象にアンケートを行い、その結果を含め事業を評価し、事業改善につなげるとともに、参加者の事後アンケート調査や取材調査により、研修後の活用についてまとめ、研修事業実施報告書により青少年関係機関へ提供した。

c 活動支援

場の提供、講師・指導者の紹介・派遣、プログラム紹介・指導(随時)

講師紹介等 1 件、職員派遣 6 人

(イ) 青少年指導者養成推進事業

a 青少年指導者養成連携・調整(神奈川県青少年指導者養成協議会事業)

(a) 総会

回数	期日/場所	主な内容/講師	参加人数
1	5月13日(木) 書面開催	○県・市町村・青少年関係団体等の青少年支援・指導者育成事業について ○令和2年度青少年支援・指導者育成事業実施結果について ○令和3年度青少年指導者養成協議会事業計画(案)について ○講演『ポストコロナ社会における青少年の体験活動の在り方～コロナ禍だからこそ体験活動を通して「社会を生き抜く力」の育成を～』 講師：独立行政法人国立青少年教育振興機構理事 伊野 亘 氏	25人

(b) 常任委員会

回数	期日/場所	主な内容	参加人数
1	4月14日(水) 青少年センター	○令和3年度総会について ○令和3年度専門部会について ○総会後の講演について ○その他	12人
2	10月6日(水) 青少年センター	○令和3年度専門部会について ○令和3年度青少年指導者養成協議会事業中間報告について ○その他	12人
3	2月8日(火) オンライン開催	○令和3年度専門部会について ○令和3年度青少年指導者養成協議会事業中間報告について ○その他	12人

## (c) 専門部会

回数	期日／場所	主な内容	参加人数
1	8月27日(金) 青少年センター	○作成方針、内容、構成等について ○役割分担について ○今後のスケジュールについて	7人
2	9月29日(水) 青少年センター	○作成方針、内容、構成等について ○その他	7人
3	12月17日(金) 青少年センター	○成果物（HP形態）について ○各担当進行状況について ○今後の予定 ○その他	7人

## (d) 青少年支援・指導者育成事業担当者会議

回数	期日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	4月20日(火) アミューあつぎ	○令和2年度事業実施結果及び令和3年度事業実施計画について ○令和3年度研修実施報告書について ○専門部会研究紹介 冊子「5つのステップでわかる チラシ作成ヒント集」 ○「かながわ青少年支援・指導者育成指針」について ○情報交換	12人
	4月22日(木) 青少年センター		13人
	4月23日(金) 小田原合同庁舎		10人
	4月27日(火) 平塚合同庁舎		12人
2	11月12日(金) 青少年センター	(1)講演「ネット・スマホ依存の青少年の現状と接し方～青少年行政ができること～」 講師：独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 前園 真毅 氏 (2)情報交換	28人

## b 青少年支援・指導者活動状況、青少年支援・指導者育成事業実施結果及び計画の調査

## (a) 青少年支援・指導者活動状況の調査

県、市区町村、青少年関係団体等が把握している青少年支援・指導者の活動状況を調査した。(調査：9月)

## (b) 青少年支援・指導者育成事業実施結果及び計画の調査

県、市区町村、青少年関係団体等が把握している青少年支援・指導者育成事業について、令和3年度の実施結果と令和4年度の事業計画を調査した。(調査：3月)

## イ 地域活動推進事業

### (7) 子ども会大会「子ども体験広場」

県内の子ども会相互の交流と連帯を進め、これからの子ども会活動の発展と充実を図る。

日 時：1月23日（日）※中止（表彰式のみ3月27日（日）に延期）

会 場：青少年センターホール

### (4) 元気な子ども・若者の地域活動調査事業

「子ども会情報誌の編集会議」

回数	期日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	6月16日（水） 青少年センター	情報誌「子ども会」テーマ・執筆協力者検討	7人
2	10月20日（水） 青少年センター	情報誌「子ども会」原稿確認	8人
3	11月24日（水） 青少年センター	情報誌「子ども会」最終稿確認	8人
4	2月上旬	※中止	—

「子ども会情報誌の取材活動」

回数	期日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	8月中旬 書面	情報誌「子ども会」令和3年度の活動報告執筆協力依頼	4人

### (ウ) 地域活性化事業（市町村・団体協働事業）

#### a 身近な公園で自然体験プログラム

※小田原市青少年課より依頼があり、研修内容を協働で企画・立案し、小田原市青少年課との共催事業として実施した。

回数	期日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	11月20日（土） 小田原市上府中公園	実習「アイスブレイキング」 実習「自然体験プログラム」 講師：青少年センター職員	17人

#### b ジュニア・リーダー県大会

※神奈川県子ども会連絡協議会と研修内容を協働で企画・立案し、共催事業として実施した。

回数	期日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	12月12日（日） 青少年センター	実習 アイスブレイキング「仲間の輪を広げよう！」 実習 班活動「コロナ渦だって遊びたい！」 実習 自己分析「自分の可能性を見つけよう」 実習 企画作りと実践（寸劇） 講師：ユース・リーダー	18人

2	3月27日(日) 青少年センター	実習 アイスブレイキング 実習 スタッツ(寸劇づくり) 実習 県子連ユース・リーダーズクラブ説明会 講師:ユース・リーダー	16人
---	---------------------	--	-----

#### ウ 青少年行政総合推進事業

##### (7) 「中学生の主張 in かながわ」

中学生が日頃抱えている思い、感銘を受けたことなどの意見をまとめた作文を募集し、優秀作品を発表する発表会を開催した。

日 時: 9月26日(日)

会 場: 青少年センタースタジオHIKARI

応募者数: 920人

発表者数: 7人

##### (4) 子ども・若者を理解するための講演会

子ども・若者が有する悩みや背景をテーマに、講演会等を開催した。

期日/場所	主な内容/講師	参加人数
10月9日(土) 青少年センター 研修室1	「私」ってだれ? ~子どもが「自分らしさ」と出会うために、大人たちにできること~ 講師: 井出 英策氏(慶應義塾大学経済学部教授)	40名

##### (ウ) 困難事例における専門家の助言指導

電話あるいは来所相談における困難事例について、専門家である精神科医による助言指導を実施した。

### (3) 青少年のひきこもり、不登校や非行等への対応

不登校・ひきこもり・非行などで悩む子ども・若者についての相談、そのような子ども・若者を地域で様々な形でサポートするNPO等への支援、青少年の自立支援、フリースペース等を運営するNPO等が実施する相談活動に対する補助、さらに講演会やセミナーを通じて子ども・若者が有する問題への理解を啓発するなどの事業を行った。

区分	事業名	概要	対象者	参加者数
<b>ア ひきこもり等相談関係事業</b>				
(7) 不登校・ひきこもり等相談関係事業	かながわ子ども・若者総合相談センター(ひきこもり地域支援センター)の運営	子ども・若者育成支援推進法に基づく「かながわ子ども・若者総合相談センター」と、厚生労働省の「ひきこもり支援センター設置運営事業」により設置した「ひきこもり地域支援センター」を一体として運営し、子ども・若者や家族からの多様な相談(電話・面接・LINE)に対応した。必要に応じて自立支援にも対応した。	県民	延4,021件 電話・来所・LINE相談(ひきこもり地域支援センター) 延2,278件 電話・来所相談)
	地域相談事業(県西部青少年サポート相談室)	NPOと協働で県西部地域及びその他県域に相談窓口(電話・面接)を開設し、子ども・若者や家族等からの相談に応じた。	県民	延499件 電話・来所 相談
	地域相談強化事業(神奈川県地域青少年相談窓口)	NPO相談・支援アドバイザーを派遣し、県域に相談窓口(電話・面接)を開設し、子ども・若者や家族等からの相談に応じた。	県民	延130件 電話・来所 相談
	事例検討	複雑、困難な相談ケースについて、臨床心理士の専門職を加えた検討会を実施した。	子ども・若者総合相談専門相談員・NPO法人等の相談担当者等	延56人
	LINE相談研修	電話相談や面接相談とは異なるSNSを活用したLINE相談の特性を考慮し、子ども・若者世代のおかれた環境等を理解し、適切な相談対応をするための研修を実施した。	子ども・若者総合相談専門相談員	9人
	相談業務研修	電話相談対応の仕方、記録の記載方法のテーマを通じて、相談技術の基本的理解を深め、日々の相談業務の円滑化のための研修を実施した。	子ども・若者総合相談専門相談員・NPO法人等の相談担当者等	延15人

区分	事業名	概要	対象者	参加者数
	相談員研修	県内で子ども・若者の相談支援を行う相談員を対象に相談技術の向上等のための研修を実施した。	教員・相談機関職員・行政職員・NPO等職員	延195人
(イ)不登校・ひきこもり等NPO支援事業及び運営支援情報の提供	NPOの活動に必要な場や機器の提供(NPO支援スペース)	ひきこもり、不登校、非行等で悩む青少年や家族のサポートに取り組むNPOや親の会等への活動支援として、打合せや活動等に利用できる場、軽印刷機・紙折り機等を利用できる場を提供した。	団体登録をした県内NPO等支援団体	延98団体 延363人
	NPO運営支援情報の提供	NPO相談・支援アドバイザーを配置し、NPOの立ち上げ、組織の運営や財務等に関する情報提供や相談を行った。	県民	相談件数 2件
	NPOスタッフ研修会	NPOの日常活動や組織運営に必要な知識や技能を学び、日ごろの対応や悩み等を話し合える研修会。令和3年度はコロナ禍の影響を鑑み中止。	NPO等支援団体スタッフ等	—
	不登校・ひきこもりの子ども・若者を支えるための人材育成研修	コロナ禍で不安が増す子ども・若者と向き合う、教育関係者や子ども・若者に関わる方を対象に、アイスブレイキングや相談機関、フリースクール・フリースペースについての基礎的な情報を提供するセミナー。令和3年度はコロナ禍の影響を鑑み中止。	教育関係者や子ども・若者に関わる方	—
	フリ・フリ・フェスタ	各団体を利用している当事者、保護者、支援者、関係者等が、主体的に参加し、楽しみながら作り上げる交流イベント。 外部への広報に努め、ひきこもり、不登校についての理解の普及、啓発を促進する。広く、多くの人に支援団体の活動を知ってもらうとともに、支援を必要としている人が支援団体とつながる機会を提供。コロナ禍の影響を鑑み、令和3年度は中止。	NPO等支援団体、県民	—
	演劇活用青少年支援事業	不登校、ひきこもり等の問題を有する子どもたちを対象に、舞台芸術の手法を活かしたワークショップを県内数か所で開催。令和3年度は当初予算計上がされず中止。	国・県並びに市町村の関係機関、NPO等支援団体	—
(ウ)不登校・ひきこもり等啓発事業	ひきこもりを考える家族セミナー	ひきこもり当事者の家族支援として、令和4年2月26日(土)海老名市との共催によりNPO七里が丘子ども若者支援研究所主宰滝田衛氏の「ひきこもりに向き合う～体験者ととともに～」講演が予定されていたが、まん延防止等重点措置の発出により、急遽中止となった。	ひきこもりに関心のある県民	—
	ひきこもり地域青少年支援フォーラム・個別相	ひきこもりをテーマに経験者・家族・支援者等を招いたフォーラムの開催とあわせて個別相談会を予定していたが、令和3年度はコロナ禍の影響を	ひきこもりに悩む家族および当事者等	—

区分	事業名	概要	対象者	参加者数
	談会	鑑み中止した。		
	相談窓口紹介カード作成・配布	県内の全小・中・高校生等にかながわ子ども・若者総合相談センターや総合教育センター、児童相談所等の相談窓口の電話番号等を掲載したカードを配布した。	県内の小・中・高校に在籍する児童・生徒等	1,000,000枚（発行枚数）
	ひきこもり問題啓発パンフレット等の配布	ひきこもり問題の正しい理解に向けたパンフレットや相談窓口の紹介リーフレットを配布した。	小・中・高校、相談機関窓口等	15,000枚（リーフレット配布枚数）
	かながわbeフレンド事業（ひきこもり相談補助員事業）	ひきこもり経験者等が、一定の研修を受講した後、専門相談員の助言・指導のもと、面接に同席し、ひきこもりに悩む家族等の相談の補助、または地域において体験談を語るなどの啓発活動を実施予定だったが、令和3年度はコロナ禍の影響を鑑み、面接相談及び啓発活動は中止した。令和4年3月4日には、座間市で開催される令和3年度厚生労働省社会福祉推進事業「ピアサポーターによる当事者性を活かしたひきこもりに関する調査研究事業」講演会へ参加予定であったが、まん延防止等重点措置延期のため中止となり、代替えとして、オンラインにより今後に向けた意見交換会を関係職員で行った。	NPO団体等の推薦を受けた者	延33人
	ひきこもり理解のための行政職員研修	ひきこもりサポーター養成派遣の依頼が市町村から無かったため、令和3年度は実施しなかった。	行政職員	—
	関連情報の提供	ひきこもり、不登校、非行等に悩む方々やそのサポート活動を行うNPO等に、相談や団体の活動状況等の情報を相談窓口、情報コーナー、ホームページ等で紹介、提供した。	県民、NPO等支援団体	—
(エ)ひきこもり地域理解促進事業	ひきこもり地域理解促進事業	ひきこもり問題に取り組む団体の発展を促すため、または地域住民への理解・啓発を促すため、各地域で団体が自主的に取り組む研修会や講演会等の会場費や講師費用を支援した。	県内NPO等支援団体	延3団体
<b>イ フリースペース等事業費補助</b>				
	フリースペース等事業費補助	地域でフリースクール等を展開し、ひきこもり、不登校等に関する相談を受けるNPO等の活動を促進するため、相談事業を実施するNPO等支援団体に対して、補助金を交付した。	フリースペース等を運営し、相談事業を行うNPO等	11団体
<b>ウ ひきこもり等青少年自立支援事業</b>				

区分	事業名	概要	対象者	参加者数
	ソーシャルスキルワークショップ（自立支援事業）	コミュニケーションや対人関係に悩みを持つ青少年を対象に、ひきこもり予防を含めた広い意味での自立支援を目的とした「ソーシャルスキルワークショップ」を、ひきこもり等の青少年支援に取り組むNPO等支援団体と協働して実施予定。令和3年度は当初予算計上がされず中止。	39歳までの県内在住・在学・在勤者	—

各事業の内容は次のとおりである。

## ア ひきこもり等相談関係事業

### (7) 不登校・ひきこもり等相談関係事業

#### a かながわ子ども・若者総合相談センター（ひきこもり地域支援センター）の運営

かながわ子ども・若者総合相談センターとひきこもり地域支援センターを一体として運営し、青少年センター及びNPOと協働で開設した県西部青少年サポート相談室及び神奈川県地域青少年相談窓口において、子どもや若者、家族の相談に応じた。

電話相談：延べ2,560件

（うち県西部青少年サポート相談室407件、神奈川県地域青少年相談窓口32件）

#### 相談者の続柄

	本所	西部	地域	計	%
本人	908	161	1	1,070	41.8%
父	156	20	3	179	7.0%
母	953	178	23	1,154	45.1%
その他親族	55	31	2	88	3.4%
知人	11	0	0	11	0.4%
関係機関	21	17	3	41	1.6%
その他	3	0	0	3	0.1%
不明	14	0	0	14	0.5%
計	2,121	407	32	2,560	

#### 相談の内容

	本所	西部	地域	計	%
ひきこもり	184	99	11	294	11.5%
不登校	133	55	7	195	7.6%
非行	11	3	0	14	0.5%
精神保健	344	47	2	393	15.4%
就労関係	224	34	8	266	10.4%
学校関係	175	17	1	193	7.5%
対人関係	194	26	0	220	8.6%
家庭問題	493	12	0	505	19.7%
発達障害等	19	71	0	90	3.5%
児童福祉	0	0	0	0	0.0%
犯罪被害	4	1	0	5	0.2%
健康問題	111	6	0	117	4.6%
生活問題	125	32	3	160	6.3%
LGBT	7	1	0	8	0.3%
その他	97	3	0	100	3.9%
計	2,121	407	32	2,560	

#### 相談対象者の内訳

	本所	西部	地域	計	%
未就学児	6	0	0	6	0.2%
小学生	52	9	0	61	2.4%
中学生	101	30	2	133	5.2%
高校生	207	79	4	290	11.3%
専門学校生	72	5	0	77	3.0%
大学生	255	11	6	272	10.6%
有職	421	13	2	436	17.0%
無職	591	229	16	836	32.7%
その他	300	17	1	318	12.4%

不明	116	14	1	131	5.1%
計	2,121	407	32	2,560	

面接相談：実114件

(うち県西部青少年サポート相談室38件、神奈川県地域青少年相談窓口58件)

(延べ347件、うち県西部青少年サポート相談室92件、神奈川県地域青少年相談窓口98件)

相談者の続柄

	本所	西部	地域	計	%
本人	5	23	17	45	39.5%
父	0	1	3	4	3.5%
母	10	11	28	49	43.0%
父母等	3	3	7	13	11.4%
その他親族	0	0	1	1	0.9%
知人	0	0	0	0	0.0%
関係機関	0	0	2	2	1.8%
計	18	38	58	114	

相談の内容

	本所	西部	地域	計	%
ひきこもり	10	13	28	51	44.7%
不登校	0	8	13	21	18.4%
非行	0	3	0	3	2.6%
精神保健	0	1	3	4	3.5%
就労関係	1	2	8	11	9.6%
学校関係	5	3	3	11	9.6%
対人関係	2	0	1	3	2.6%
家庭問題	0	0	1	1	0.9%
発達障害等	0	2	0	2	1.8%
児童福祉	0	1	0	1	0.9%
犯罪被害	0	0	0	0	0.0%
健康問題	0	1	0	1	0.9%
生活問題	0	4	1	5	4.4%
LGBT	0	0	0	0	0.0%
その他	0	0	0	0	0.0%
計	18	38	58	114	

相談対象者の内訳

	本所	西部	地域	計	%
未就学児	0	0	0	0	0.0%
小学生	0	4	1	5	4.4%
中学生	0	7	3	10	8.8%
高校生	6	5	12	23	20.2%
専門学校生	0	0	0	0	0.0%
大学生	0	1	3	4	3.5%
有職	1	1	7	9	7.9%
無職	11	20	32	63	55.3%
計	18	38	58	114	

LINE相談：延べ1,114件

相談者の続柄

	本所	%
本人	527	87.0%
父	4	0.7%
母	61	10.1%
その他親族	7	1.2%
知人	6	1.0%
関係機関	0	0.0%
その他	1	0.2%
不明	508	—
計	1,114	

※割合は不明を除いて算出

相談対象者の内訳

	本所	%
未就学児	2	0.3%
小学生	89	15.5%
中学生	212	36.8%
高校生	96	16.7%
専門学校生	17	3.0%
大学生	31	5.4%
有職	52	9.0%
無職	62	10.8%
その他	15	2.6%
不明	538	—
計	1,114	

※割合は不明を除いて算出

相談の内容

	本所	%
ひきこもり	12	2.6%
不登校	21	4.6%
非行	0	0.0%
精神保健	47	10.3%
仕事関係	35	7.6%
学校関係	74	16.2%
対人関係	111	24.2%
家庭問題	89	19.4%
発達障害等	5	1.1%
児童福祉	5	1.1%
犯罪被害	3	0.7%
健康問題	15	3.3%
生活問題	11	2.4%
LGBT	4	0.9%
その他	26	5.7%
不明	656	—
計	1,114	

※割合は不明を除いて算出

b 地域相談事業（県西部青少年サポート相談室）

県西部における相談の利便性を確保するため、NPOと協働して小田原市内に県西部青少年サポート相談室を開設した。

c 地域相談強化事業（神奈川県地域青少年相談窓口）

県域における相談の利便性を確保するため、NPO相談・支援アドバイザーを派遣し、横須賀三浦地域（鎌倉市内）及び湘南地域（寒川町内）、県央地域（厚木市内、綾瀬市内）に青少年相談窓口を開設した。

d 事例検討

相談事例の共有と適切な支援方法を検討するために、週に1回定例の検討会に加え、事例検討

会を開催し、臨床心理士より助言を受けた。

e LINE 相談研修

電話相談や面接相談とは異なる SNS を活用した LINE 相談の特性を考慮し、子ども・若者世代のおかれた環境等を理解し、適切な相談対応をするための研修を実施した。

期日／場所	主な内容／講師	参加人数
9月9日(木) 青少年センターNPO 活動室①	「SNSを活用した子ども・若者総合相談研修」 講師：高溝 恵子 氏 (株) アイデアヒューマンサポートサービス	9名

f 相談業務研修

電話相談対応の仕方、記録の記載方法のテーマを通じて、相談技術の基本的理解を深め、日々の相談業務の円滑化のための研修を実施した。

期日／場所	主な内容／講師	参加人数
1月25日(火) 青少年センターNPO 活動室①	「電話相談の実際とその対応について」 講師：吉味徳子氏 (社会福祉法人横浜いのちの電話相談員)	9名
3月24日(木) 青少年センター 研修室1	「相談記録について～基本を学び、事例を通して考える～」 講師：井上夏子氏 (神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部社会福祉学科助教)	6名

g 相談員研修

県内で子ども・若者への相談支援を行う公的機関職員及び民間団体スタッフを対象に、相談技術の向上と子ども・若者にかかる問題の理解に焦点をあてた研修を実施した。

期日／場所	主な内容／講師	参加人数
6月10日(木) 青少年センター 研修室1、2	「相談入門～その進め方と見立てを体験的に学ぶ～」 講師：辻隆造氏 (公認心理師・臨床心理士)	37名
12月17日(金) 青少年センター Zoom及び研修室1	「相談における適切なアセスメントの基本を学ぶ」 ～相談支援を進めていく上で必要なアセスメント技術の基本について事例を通して学ぶ～ 講師：近藤直司氏 (大正大学心理社会学部臨床心理学教授)	72名
2月24日(木) 青少年センター Zoom及び研修室2	「SSWの現場から見た相談の実態」 ～県立高校で勤務するSSWから、実際の事例を通して相談に必要な資質・能力について学ぶ～ 講師：宮本裕子氏 (県立学校スクールソーシャルワーカー)	86名

(イ) 不登校・ひきこもり等NPO支援事業及び運営支援情報の提供

a NPOの活動に必要な場や機器の提供(NPO支援スペース)

会合や諸活動等に利用できる「活動室」、予約なしで打ち合わせ等が行える「オープンスペース」、軽印刷機や紙折り機等が使用できる「ワーキングコーナー」や関係情報を閲覧できる「情報コーナー」等を提供した。

(令和3年4月1日から令和4年3月31日)

	活動室	交流サロン・ オープン活動室	ワーキング コーナー	情報コーナー・ オープンスペース	研修室	計
団体数	76	0	6	16	0	98団体
人数	314	0	6	43	0	363人

b NPO運営支援情報の提供

NPOの運営や財務に関して、NPOの立ち上げや運営等の経験があるNPO相談・支援アドバイザーが相談を受けた。

相談件数 2件

c NPOスタッフ研修会

不登校・ひきこもり等の青少年を支援するNPO等で活動するスタッフやボランティアが活動に役立つ知識や技能を修得する機会としての研修会。コロナ禍の影響を鑑み、令和3年度は中止。

d 不登校・ひきこもりの子ども・若者を支えるための人材育成研修

コロナ禍で不安が増す子ども・若者と向き合う、教育関係者や子ども・若者に関わる方を対象に、アイスブレイキングや相談機関、フリースクール・フリースペースについての基礎的な情報を提供するセミナー。コロナ禍の影響を鑑み、令和3年度は中止。

e フリ・フリ・フェスタ

団体や機関の交流や情報交換を深め、また不登校やひきこもり等の青少年や家族を支える活動の活性化のため、フリ・フリ・フェスタ実行委員会と協働して実施する予定であったが、令和3年度は、コロナ禍の影響を鑑み、中止とした。

f 演劇活用青少年支援事業（舞台芸術活用ワークショップ等青少年支援事業）

不登校、ひきこもり等の問題を有する子どもたちを対象に、舞台芸術の手法を活かしたワークショップ（アウトリーチ）を実施する予定であったが、令和3年度は、当初予算計上がされず中止とした。（※ホール運営課とのクロスファンクショナル事業）

(ウ) 不登校・ひきこもり等啓発・研究事業

a ひきこもりを考える家族セミナー

県保健福祉事務所・県精神保健福祉センター・市町村等との協働により、ひきこもりに関する知識・情報を提供し、家族の焦燥感の軽減や、当事者への関わり方の変化を期待するため、家族セミナーの開催を予定していたが、令和3年度はコロナ禍の影響を鑑み中止した。

b ひきこもり地域青少年支援フォーラム・個別相談会

ひきこもりをテーマに経験者・家族・支援者等を招いたフォーラムの開催とあわせて個別相談会の開催を予定していたが、令和3年度はコロナ禍の影響を鑑み中止した。

c 相談窓口紹介カード作成・配布

県内の全小学生・中学生・高校生等に相談や支援に係る情報提供を行った。

発行部数：1,000,000部

d ひきこもり問題啓発パンフレット等の配布

研修の参加者等に、ひきこもり問題を解説したパンフレットや相談窓口案内のリーフレットを配布した。

リーフレット配布枚数：15,000枚

e かながわbeフレンド事業（ひきこもり相談補助員養成事業）

かながわ子ども・若者総合相談センターのNPO相談・支援アドバイザーの所属する団体等より推薦を受け、養成研修を受講した10名が、かながわbeフレンドとして委嘱された。

コロナ禍の影響から、面接相談における相談補助活動や、フォーラム等の地域啓発活動は中止した。

(a) 打合せ及び研修

回数	期日/場所	主な内容・講師	参加人数
1	5月27日（木） 青少年センター 研修室1	第一回打合せ及び研修 今年度の事業・活動の確認 グループワーク 「自己紹介カードを用いて、自分自身のことを話してみよう。」	9人
2	7月22日（木） 青少年センター 研修室2	第二回打合せ及び研修 不登校・ひきこもりを経験して ～苦しい気持ちとの寄り添い方～ 講師：棚園 正一（漫画家、イラストレーター、河合塾美術研究所 こども教室講師）	9人
3	12月14日（火） 座間市ひきこもり サポート事業「み んなの居場所 こ こから」	スキルアップ研修 座間市ひきこもりサポート事業「みんなの居場所 ここから」との 共催事業についての打合せ	2人
4	1月18日（火） 座間市ひきこもり サポート事業「み んなの居場所 こ こから」	スキルアップ研修 座間市ひきこもりサポート事業「みんなの居場所 ここから」 ここからサロン 「在宅ワークを知ろう！」へのスタッフとしての 参加	2人
5	2月15日（火） 座間市ひきこもり サポート事業「み んなの居場所 こ こから」	スキルアップ研修 座間市ひきこもりサポート事業「みんなの居場所 ここから」 ここからサロン 「ひきこもり当事者が語る あなただけじゃな い『そのとき わたしが感じたこと』」へのスタッフ及び元当事者 としての参加	2人
6	3月17日（木） 青少年センター 研修室1	第三回打合せ 今年度の活動報告とふりかえり 令和4年度のかながわbeフレンド事業について	9人

(b) 相談補助

相談者の希望に応じて、相談員、NPO相談・支援アドバイザー同席のもと面接相談に入り、自身の体験などを相談者に伝えることにより、ひきこもりに対して家族が理解を深め、当事者への対応について考えるための一助とする活動であるが、令和3年度は、面接希望者がおらず、未実施であった。

f ひきこもり理解のための行政職員研修

ひきこもりサポーター養成派遣にむけて、市町村の行政職員を対象にひきこもり支援の基礎的研修をおこなう予定であったが、市町村からの要請が無く、実施しなかった。

g 関連情報の提供

青少年センターのホームページ等により、ひきこもりや不登校等の問題に取り組む県内NPO等の情報や、ひきこもり等関連の講演会等の情報を提供した。

(エ) ひきこもり地域理解促進事業

ひきこもり、不登校等に悩む子ども・若者を地域で支える団体の活性化や地域におけるひきこもり問題への理解を促進するため、団体が開催する講座等を青少年センターが共催し、併せて講師等の謝金を負担して、団体活動を支援した。

事業趣旨（事業区分）	実施団体数	参加延人数
ひきこもり青少年親の会等地域団体活動促進	2団体	47人
ひきこもり地域支援団体活動促進	1団体	14人

イ フリースペース等事業費補助

フリースペース、フリースクール等を運営するNPO等が実施するひきこもり等青少年やその家族を対象とした相談活動に支援を行った。

補助対象団体数	11団体
---------	------

NPO法人くじらぐも  
 NPO法人教育支援協会南関東（フリースペースみなみ）  
 NPO法人楠の木学園  
 NPO法人アーモンドコミュニティネットワーク  
 NPO法人教育活動総合サポートセンター  
 NPO法人フリースクール鈴蘭学園  
 NPO法人アンガージュマン・よこすか  
 NPO法人そだちサポートセンター  
 フレンドリースペース金沢  
 NPO法人くだけけ会  
 NPO法人子どもと共に歩むフリースペースたんぼぼ

ウ ひきこもり等青少年自立支援事業

ひきこもりや不登校の青少年の問題の多くは、友人や家族等とのコミュニケーションや対人関係に課題がある場合が多く、また、同様の悩みを持ちつつも就労している青少年が数多く存在することは、早期離職者の状況等からも伺える。こうしたコミュニケーションや対人関係に悩みを持つ青少年を対象に、ひきこもり予防を含めた広い意味での自立支援を目的とした「ソーシャルスキルワークショップ」を、ひきこもり等青少年支援に取り組むNPO等支援団体と協働して実施する予定であったが、令和3年度は、当初予算計上がされず、中止。

#### (4) 青少年の科学体験活動の促進支援

青少年センターおよび県内地域において、科学体験やものづくりの講座、科学体験イベント、作品展や研究発表等を実施し、科学活動普及・啓発に努めた。あわせて、科学技術系人材育成事業として、キャリアプログラム等による青少年の人材育成、科学体験指導者の育成や教員研修事業を実施した。科学情報発信事業として、ホームページ(インターネット科学館)での資料提供等を実施した。

※ 参加者数はすべて延べ人数

区分	事業名	概要	参加者	参加者数
<b>ア 科学活動情報発信事業</b>				
	(7) インターネット科学館	ホームページによる科学関係の情報を提供した。	一般	アクセス回数 19,322件
	(4) 科学相談	科学に関する質問、研究の進め方、指導法等の相談、体験室利用、出張天体観測指導に対応した。	小学生以上 ～一般	来館利用17 件、電話7 件、物品貸出 5件、出張指 導1件 その他4件
<b>イ 科学活動普及・啓発事業</b>				
1	(7) 青少年科学活動啓発事業	子どもサイエンスフェスティバル	科学の不思議や楽しさを実感できる実験や科学工作ブースによる科学講座を、県内4か所で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2回中止し、少人数の申込制として2回実施した。	青少年 一般  210人
	青少年のための科学の祭典2021 神奈川大会	小学生・中学生向けに、科学の不思議さや楽しさを実感できる実験・科学工作によるブースによるイベントを開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	青少年 一般	—
	青少年のためのロボフェスタ2021	「さがみロボット産業特区」関連事業との位置づけで、企業・研究機関・大学・高校等によるブースの出展によりロボットの楽しさを体験してもらう祭典を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	青少年 一般	—
	星空教室	月と惑星、月食、星団等を天体望遠鏡を使用して観察する教室を、18回(申込多数のため臨時開催6回含む)予定したが、雨天のため2回中止、新型コロナウイルス感染拡大防止のため6回中止し、10回実施した。	小学生以上	388人
	科学講演会	青少年科学体験活動推進協議会総会等にあわせて予定したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	青少年 一般	—

区分	事業名	概要	参加者	参加者数
	日本学生科学賞 神奈川県作品展	県内中学生・高校生の研究作品コンクール の神奈川県大会を支援し、出展数 149 点で、 作品展を 6 日間開催した。	青少年 一般	413人
	横浜市中学校生 徒科学作品展	横浜市立学校総合文化祭による理科部門の 作品展開催を支援した。出展数 147 点で、 作品展を 6 日間開催した。	青少年 一般	125人
	神奈川県高等学 校総合文化祭理 科部研究発表大 会	神奈川県高等学校文化連盟加盟の理科部に よる研究発表会の開催を支援した。11 団体 発表。	青少年 一般	81人 (前日準備 2 人を含 む)
	神奈川県工業高 等学校生徒研究 発表会	神奈川県立工業高等学校の生徒研究発表会 の開催予定であったが、新型コロナウイルス 感染拡大防止のためオンライン開催（ライ ブ配信発表）による審査に変更した。11 団体発表。	高校生	—
(イ) 青少年科 学体験支援 事業	かながわりレー 科学教室	移動科学講座として、おもしろ実験・科学 工作教室を県内 8 か所 8 回開催予定だっ たが新型コロナウイルス感染拡大防止のため 3 回中止し 5 回実施した。	小学生 保護者等	115人 (内小学生 80人)
	依頼団体科学教 室	学校や公民館等からの依頼により、実験シ ョー、科学工作教室等を県内各所で 7 回予 定したが、新型コロナウイルス感染拡大防 止のため 2 回中止、5 回実施した。	おもに 小学生	234人 (内小学生 183人)
	ロボットプログ ラム	自律型ロボットのプログラミングから機構 について課題解決型で学習する講座として 【ものをはさんで運ぼう】【センサーで見 つけよう】【ロボットで対戦しよう】の 3 つ のテーマで計 28 回計画したが、新型コロナ ウイルス感染拡大防止のため 12 回中止、16 回実施した。また、昨年度実施できなかった 講座の振替を 5 回実施した。	小学 3～6 年生 中学生 保護者等	188人 (内小中 学生 105人)
	自然観察会	県内 3 か所 (5 回) で、動植物や地形の自然 観察方法を学ぶとともに、環境保護施設等 の見学を実施予定したが、新型コロナウイ ルス感染拡大防止のため 1 回中止し 4 回実 施した。	小学生以上	70人 (内小中 学生 32人)
	子ども科学講座	身近に起こる科学現象のしくみや性質を、 体験しながら学ぶ講座を 9 回実施の予定だ ったが、新型コロナウイルス感染拡大防止 のため 3 回中止し 6 回実施した。	小学生 (一部中 3 まで) 保護者等	126人 (内小学生 97人)
	子ども施設指導 員セミナー (一 部再掲)	指導者育成課の事業協力として科学工作、 簡単な科学実験等を紹介する講座を 2 回実 施した	一般	47人

区分	事業名	概要	参加者	参加者数
	その他（共催事業）	ロボットゆうえんちとの共催で ROBO-ONE を1回実施、神奈川工科大学と共催でロボットプログラムスペシャルを2回開催した。	青少年 一般	102人
(ウ)ものづくり子どもサイエンス事業	プチロボで競走しよう	走行型プチロボットを自作し、コースを走行させて競走する講座を、県内11か所で14回開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため5回中止し9回実施した。	小学3～6 年生 保護者等	197人 (内小学生 157人)
	ものづくり体験教室	身近な材料を使用したものづくりを体験することにより、科学現象の原理について学ぶ講座を6回実施予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2回中止し4回実施（内2回は延期実施）した。	小学生 (一部中3 まで) 保護者等	80人 (内小中学生 57人)

ウ 科学技術系人材育成事業

(7) 青少年科学人材育成事業	小学生科学研究クラブ	自分でテーマを決めて研究し、発表までを行うクラブ活動を1講座6回開催する予定だったが新型コロナウイルス感染拡大防止で3回中止し3回実施した。	小学4～6 年生 保護者等	34人 (内小学生 23人)
	子ども科学探検隊	県内の科学館・研究施設・大学等において、科学の不思議・ものづくりの感動を体験・見学する講座を11回開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため7回中止、少人数制にして4回実施した。	小学4～6 年生	45人 (内小学生 32人)
	中高生サイエンスキャリアプログラム	県内科学館・大学・研究施設を訪問し、施設見学や研究者・技術者との交流を通して、科学への関心を高め技術者・研究者としての職業観を育成する講座を11回実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止や先方都合のため9回中止、受講者無しで1回中止、実施は1回だった。	中学生 高校生	16人 (内中高生 12人)
	高校生天文講座	天文施設見学も交えて、天体観測の基礎から最新観測法までを学ぶ講座を1講座11回実施する予定だったが新型コロナウイルス感染拡大防止のため4回中止となり7回実施した。	高校生	受講人数 25人 (延べ123人 修了証18人)
	高校生科学ボランティア	青少年センター科学体験事業にボランティアスタッフとして参加する生徒募集を行った。開講式後、ボランティア活動開始した、新型コロナウイルス感染拡大防止のため緊急事態宣言が発令中された8月2日から9月30日の期間の活動は中止した。年度末には活動証明書の発行を行った。	高校生	71人登録 延べ24講座 161活動 510.5時間 証明書71人

区分	事業名	概要	参加者	参加者数
	「科学活動普及・啓発事業」 高校生実験・実習講座	高校では取り扱わないような生徒の科学への興味関心を高めるテーマを選び、2回実施の予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	高校生	—
	「先端科学連携体験事業」 カナラボ (先端科学企業体験会)	企業や大学などから講師を招き、講義と実習を通して、先端科学技術に触れる講座を、2回実施の予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	中高校生	—
(イ) 科学体験指導者育成事業	おもしろ実験・科学工作指導者セミナー	子どもたちに科学実験・科学工作を指導できる指導者を育成するため、5日間の講座を2コース開催した。	一般	受講人数 7人 延べ31人 修了証6人
	天文研究クラブ	高校生天文講座の修了者や一般の方を対象に、天体写真や画像処理についての講座を6回実施予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため3回中止し3回実施した。	高校生以上 ～一般	17人
(ウ) 理科教育人材育成事業	教員研修科学講座	総合教育センターとの連携により、教員を対象に、4講座を実施した。	教職員	54人
	依頼型教員研修講座	今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため依頼数減、2回の依頼についても中止した。	教職員	—
	小学校教員養成課程学生対象講座(大学連携事業)	小学校教員養成課程を持つ大学との連携事業として、理科実験に関する講座を1講座開講した。	大学生	10人
	インターンシップ、社会体験研修受入れ等	現職教員の社会体験研修を3人受け入れた。大学生や高校生のインターンシップは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため依頼がなかった。	教職員	3人

各事業の内容は次のとおりである。

## ア 科学活動情報発信事業

青少年の科学活動を促進、支援するための科学情報を提供した。

### (7) インターネット科学館

科学支援課の事業の広報とあわせて、神奈川県青少年科学体験活動推進協議会との連携により得た科学関係の催し物の情報や、天文関係の資料等をホームページで提供した。

ホームページアクセス回数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
1,247	1,472	2,273	2,820	1,834	1,231	19,322 R2年度 (12,130)
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1,556	1,395	1,560	1,674	1,104	1,156	

### (4) 科学相談

科学に関する質問、研究の進め方、指導法等の相談を受け付けた。また科学体験機材の貸出や科学体験室を活用した研究等を支援した。

来館利用（科学相談等） 17件20人      電話科学相談 7件7人      物品貸出 5件5人  
出張（天体観測指導） 1件38人      その他 4件11人

## イ 科学活動普及・啓発事業

青少年の科学に対する興味・関心を喚起するため、イベント系啓発事業や体験講座を企画・運営・実施した。また、青少年による作品展や研究発表会を支援した。

### (7) 青少年科学活動啓発事業

#### a 子どもサイエンスフェスティバル（主催：子どもサイエンスフェスティバル実行委員会）

回数	月 日	会 場		参加人数
1	12月18日(土)	横須賀	横須賀市立青少年会館	97人
2	1月15日(土)	小田原	小田原市生涯学習センターけやき	113人

(出展者、アシスタント含む)

1月29日(土) 相模原市立青少年学習センター

2月19日(土) 青少年センター科学部科学体験室

は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

#### b 青少年のための科学の祭典2021 神奈川大会（共催：神奈川県青少年科学体験活動推進協議会）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

#### c 青少年のためのロボフェスタ2021（主催：神奈川県青少年のためのロボフェスタ運営委員会）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

#### d 星空教室（定員各44名）新型コロナウイルス感染拡大防止のため定員を削減した

回数	月 日	内 容	参加人数
1	4月18日(日)	月齢6の月と春の二重星(前日雨天のため順延実施)	22人
2	5月26日(水)	皆既月食	43人
3	6月19日(土)	月齢9の月と金星	—
4	7月17日(土)	上弦の月と金星、夏の二重星	48人
臨時	*7月18日(日)	月齢9の月と金星、夏の二重星	42人
5	8月21日(土)	月齢13の月と土星、夏の大三角	—
臨時	*8月22日(日)	月齢14の月と土星、夏の大三角	—
6	9月18日(土)	月齢11の月と土星、木星	—
7	10月16日(土)	月齢10の月と木星、土星	—
8	11月13日(土)	月齢8の月と木星、金星、土星、海王星	45人
臨時	*11月13日(土)	月齢8の月と木星、金星、土星、海王星(第2部)	36人
9	12月11日(土)	月齢7の月と木星、天王星	42人
臨時	*12月11日(土)	月齢7の月と木星、天王星	44人
10	1月16日(日)	月齢13の月と天王星、すばる(前日雨天のため順延実施)	41人
臨時	*1月16日(日)	月齢13の月と天王星、すばる(第2部)(前日雨天のため順延実施)	25人
11	2月5日(土)	月齢4の月と冬の大三角	—
臨時	*2月5日(土)	月齢4の月と冬の大三角(第2部)	—
12	3月12日(土)	月齢9の月とオリオン座大星雲	—

(アシスタントスタッフ延べ17人含む)

※6月19日、10月16日は天候不良のため中止

4月18日、1月16日は当初予定日が雨天のため翌日に順延実施の回

8月21日、8月22日、9月18日、2月5日(2回)、3月12日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

\*印は、申し込み多数のため翌日(冬季は同日2部構成)に臨時の回として設定

e 科学講演会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

f 日本学生科学賞神奈川県作品展

期 間	内 容
10月6日(水)~12日(火) 初日、月曜を除く6日間	出展数149点 見学者総数413人 県知事賞2点、県教育長賞2点、青少年センター館長賞1点、他特別賞5点、学校賞1点、入賞21点

g 横浜市中学校生徒科学作品展

期 間	内 容
9月8日(水)～14日(火) 月曜日を除く6日間	出展数147点 見学者総数125人 入賞47点

h 神奈川県高等学校総合文化祭理科部研究発表大会

月 日	内 容
11月7日(日)	発表11団体 参加者総数81人 (高校生55人、一般26人)

(前日準備2人含む)

i 神奈川県工業高等学校生徒研究発表会

新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン開催(ライブ配信発表)に変更

研究発表 11

最優秀賞：神奈川県立神奈川工業高等学校

優秀賞：川崎市立川崎総合科学高等学校

(4) 青少年科学体験支援事業

a かながわりレー科学教室（おもしろ実験・科学工作教室）

回数	月 日	会 場		参加人数
1	6月6日(日)	寒川	寒川町民センター	18人
2	6月27日(日)	藤沢	善行公民館	26人
3	7月11日(日)	葉山	葉山町教育委員会 庁舎	19人
4	7月25日(日)	湯河原	湯河原町防災コミュニティセンター	29人
5	8月11日(水)	松田	松田町立公民館	—
6	8月18日(水)	中井	井ノ口公民館	—
7	10月30日(土)	大和	桜丘学習センター	23人
8	1月23日(日)	横浜	青少年センター	—

(指導者セミナー修了者、高校生科学ボランティア延べ20人含む)

※第5～6回、第8回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

b 依頼団体科学教室

	月 日	会 場 (内 容)	参加人数
1	8月16日(月)	横浜能楽堂 (科学工作)	60人
2	8月19日(木)	大和市立林間小学校 (演示実験、科学工作)	117人
3	11月28日(日)	座間市公民館 (演示実験、科学工作)	20人
4	12月11日(土)	藤沢市善行公民館 (演示実験、科学工作)	13人
5	3月19日(土)	座間市青少年センター (科学工作)	24人

c ロボットプログラム (定員各16人)

(a) ロボットプログラム 小学生の部 特別講座 (昨年度実施できなかった振替講座)

回数	月 日	会 場	参加人数	
			小学生	その他
1	4月10日(土)	青少年センター 科学部 (9:30~11:30)	1人	1人
2	4月10日(土)	青少年センター 科学部 (13:30~15:30)	6人	6人
3	4月17日(土)	青少年センター (横浜) (13:30~15:30)	5人	5人
4	5月1日(土)	青少年センター 科学部 (9:30~11:30)	8人	5人
5	5月1日(土)	青少年センター 科学部 (13:30~15:30)	6人	2人

(b) ロボットプログラム 小学生の部 【ものをはさんで運ぼう】

回数	月 日	会 場	参加人数	
			小学生	その他
1	5月29日(土)	青少年センター 科学部 (9:30~11:30)	3人	3人

2	5月29日(土)	青少年センター 科学部 (13:30~15:30)	3人	4人
3	11月28日(日)	青少年センター 科学部 (9:30~11:30)	10人	3人
4	11月28日(日)	青少年センター 科学部 (13:30~15:30)	10人	3人
5	2月11日(金)	青少年センター 科学部 (9:30~11:30)	—	—
6	2月11日(金)	青少年センター 科学部 (13:30~15:30)	—	—

(高校生科学ボランティア延べ6人含む)

※第5～6回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(c) ロボットプログラム 小学生の部 【センサーで見つけよう】

回数	月 日	会 場	参加人数	
			小学生	その他
1	6月19日(土)	青少年センター (横浜) (9:30~11:30)	4人	4人
2	6月19日(土)	青少年センター (横浜) (13:30~15:30)	3人	2人
3	8月28日(土)	青少年センター (横浜) (9:30~11:30)	—	—
4	8月28日(土)	青少年センター (横浜) (13:30~15:30)	—	—
5	10月16日(土)	青少年センター (横浜) (9:30~11:30)	5人	6人
6	10月16日(土)	青少年センター (横浜) (13:30~15:30)	6人	8人
7	2月6日(日)	青少年センター (横浜) (9:30~11:30)	—	—
8	2月6日(日)	青少年センター (横浜) (13:30~15:30)	—	—

(高校生科学ボランティア延べ6人含む)

※第3～4回、第7～8回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(d) ロボットプログラム 小学生の部 【ロボットで対戦しよう】

回数	月 日	会 場	参加人数	
			小学生	その他
1	8月21日(土)	青少年センター 科学部 (9:30~11:30)	—	—
2	8月21日(土)	青少年センター 科学部 (13:30~15:30)	—	—
3	12月4日(土)	青少年センター 科学部 (9:30~11:30)	12人	2人
4	12月4日(土)	青少年センター 科学部 (13:30~15:30)	10人	2人
5	3月5日(土)	青少年センター 科学部 (9:30~11:30)	—	—
6	3月5日(土)	青少年センター 科学部 (13:30~15:30)	—	—

(高校生科学ボランティア延べ4人含む)

※第1～2回、第5～6回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(e) ロボットプログラム 中学生の部 【ものをはさんで運ぼう】

回数	月 日	会 場	参加人数	
			中学生	その他
1	7月31日(土)	青少年センター 科学部 (9:30~11:30)	5人	7人

回数	月 日	会 場	参加人数	
			中学生	その他
2	7月31日(土)	青少年センター 科学部 (13:30~15:30)	5人	7人
3	10月9日(土)	青少年センター 科学部 (9:30~11:30)	2人	4人
4	10月9日(土)	青少年センター 科学部 (13:30~15:30)	0人	4人

(高校生科学ボランティア延べ16人含む)

(f) ロボットプログラム 中学生の部 【ロボットで対戦しよう】

回数	月 日	会 場	参加人数	
			中学生	その他
1	9月5日(日)	青少年センター 科学部 (9:30~11:30)	—	—
2	9月5日(日)	青少年センター 科学部 (13:30~15:30)	—	—
3	10月30日(土)	青少年センター 科学部 (9:30~11:30)	1人	2人
4	10月30日(土)	青少年センター 科学部 (13:30~15:30)	0人	3人

(高校生科学ボランティア延べ5人含む)

※第1～2回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

d 自然観察会

回数	月 日	会 場	内 容	参加人数
1	7月4日(日)	午前 天神島(横須賀市)	磯の生き物や地層の観察	11人
2	7月4日(日)	午後 天神島(横須賀市)	磯の生き物や地層の観察	18人
3	9月19日(日)	鶴見川流域センター周辺	川魚の観察、遊水地の学習	—
4	10月24日(日)	県立座間谷戸山公園	どんぐり採集、分類・工作	18人
5	12月5日(日)	鶴見川流域センター周辺	野鳥観察、遊水地の学習	23人

(高校生科学ボランティア延べ4人含む)

※第3回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

e 子ども科学講座（小学生対象 定員各24名 ただし、\*小4～中3対象）

回数	月 日	内 容	参加人数
1	7月23日(金)	午前 顕微鏡で観察しよう	20人
2	7月23日(金)	午後 顕微鏡で観察しよう	19人
3	7月24日(土)	午前 音と光のふしぎ	23人
4	7月24日(土)	午後 音と光のふしぎ	25人
5	8月13日(金)	色の科学実験*	—
6	8月20日(金)	夜間 月の観察	—
7	8月20日(金)	DNAを発見しよう*	—
8	11月27日(土)	午前 電気と磁石のふしぎ	18人
9	11月27日(土)	午後 電気と磁石のふしぎ	21人

（高校生科学ボランティア延べ18人含む）

※第5～7回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

f 子ども施設指導員セミナー（指導者育成課事業の一部）

回数	月 日	会 場	参加人数
1	7月8日(木)	青少年センター 科学部	24人
2	10月27日(水)	横須賀市役所	23人

g その他（共催事業）

- ・ROBO-ONE（共催 ロボットゆうえんち）

ものづくり技術の向上と二足歩行ロボットの普及を目指して二足歩行ロボット格闘大会を青少年センター（紅葉ヶ丘）で実施した。

11月20日（土）参加者 60人（一般、前日準備含む）

- ・ロボットプログラムスペシャル（共催 神奈川工科大学）

かながわ教育月間に合わせて小学生～高校生と指導教員を対象にロボットプログラム講座を青少年センター（厚木）で3講座計画し、受講者無しの1講座を除く2講座を実施した。

10月17日（日）参加者 42人（内小中学生20人含む）

(ウ)ものづくり子どもサイエンス事業

ものづくり関係講座、ロボット関連事業を提供した。

- a プチロボで競走しよう大会

回数	月 日	会 場		参加人数	
				小学生	その他
1	6月20日(日)	座間	座間市青少年センター	8人	3人
2	6月27日(日)	藤沢	湘南台文化センターこども館	23人	3人
3	7月25日(日)	小田原・夏	小田原市生涯学習センターけやき	24人	4人
4	8月11日(水)	伊勢原	伊勢原市立子ども科学館	—	—
5	8月18日(水)	二宮	二宮町生涯学習センターラディアン	—	—
6	9月4日(土)	川崎①	東芝科未来学館	—	—
7	10月24日(日)	厚木・秋	青少年センター科学部	16人	4人
8	10月31日(日)	大和	大和市文化創造拠点シリウス	22人	6人
9	11月14日(日)	川崎②	かわさき宙と緑の科学館	16人	6人
10	12月11日(土)	横浜	青少年センター	12人	8人
11	12月26日(日)	横須賀	横須賀市青少年会館	12人	3人
12	1月16日(日)	小田原・冬	小田原市生涯学習センターけやき	24人	3人
13	1月30日(日)	相模原	相模原市青少年学習センター	—	—
14	2月20日(日)	厚木	青少年センター科学部	—	—

(指導者セミナー修了者延べ25人、高校生科学ボランティア延べ13人参加)

※第4～6回、第13～14回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

b ものづくり体験教室 (\*小3～6対象 \$小1～2と保護者等、他は小学生対象)

回数	月 日	内 容	参加人数	
			小中学生	その他
1	11月13日(土)	ゴムCARで競争しよう! *	6人	10人
2	11月20日(土)	海の小さな生き物で作る標本	8人	8人
3	12月12日(日)	クリスマスリースを作ろう	22人	3人
4	12月25日(土)	お正月の工作	21人	2人
5	3月6日(日)	一緒にものづくり体験! 初級\$	—	—
6	3月13日(日)	一緒にものづくり体験! 中級*	—	—

(高校生科学ボランティア延べ10人含む)

※第1回、第2回は、当初8月4日(水)5日(木)に計画したが、  
新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期実施

※第5～6回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

ウ 科学技術系人材育成事業

青少年の科学に対する興味・関心を喚起し、次世代の科学技術を担う人材の育成や、科学体験活動指導者の育成事業を実施した。

(7) 青少年科学人材育成事業

a 小学生科学研究クラブ(1コース6回、定員12名)

回数	実施日	内容	参加人数	
			小学生	その他
1	7月10日(土)	オリエンテーション、研究テーマ決定	7人	4人
2	7月22日(木)	研究活動	9人	4人
3	8月1日(日)	研究活動	7人	3人
4	8月10日(火)	研究活動	—	—
5	8月17日(火)	研究活動	—	—
6	8月22日(日)	研究発表会	—	—

※第3回以降は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とし、個別対応

b 子ども科学探検隊(定員各20名)(主催:神奈川県青少年科学体験活動推進協議会)

回数	実施日	訪問施設	参加人数	
			小学生	その他
1	6月26日(土)	はまぎんこども宇宙科学館	10人	0人
2	7月17日(土)	湘南工科大学	6人	7人
3	7月27日(火)	青山学院大学相模原キャンパス	12人	4人
4	8月3日(火)	横浜市立野毛山動物園	—	—
5	8月28日(土)	神奈川工科大学	—	—
6	9月5日(日)	東海大学	—	—
7	9月11日(土)	麻布大学	—	—
8	9月12日(日)	鎌倉女子大学	—	—
9	9月18日(土)	東芝未来科学館	—	—
10	9月25日(土)	横浜市立金沢動物園	—	—
11	10月2日(土)	伊勢原市立子ども科学館	4人	2人

※第4～10回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

c 中高生サイエンスキャリアプログラム

回数	実施日	訪 問 施 設	参加人数	
			中高学生	保護者(弟妹含む)
1	7月18日(日)	鎌倉女子大学	—	—
2	7月22日(木)	午前 北里大学	—	—
3	7月22日(木)	午後 北里大学	—	—
4	7月28日(水)	青山学院大学相模原キャンパス	12人	4人
5	7月31日(土)	生命の星・地球博物館	0人	0人
6	8月5日(木)	ミットヨ測定博物館	—	—
7	8月13日(金)	午前 東芝未来科学館	—	—
8	8月13日(金)	午後 東芝未来科学館	—	—
9	8月28日(土)	神奈川工科大学	—	—
10	8月29日(日)	湘南工科大学	—	—
11	9月4日(土)	東海大学	—	—

※第1～3回、第6～11回新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止  
第5回は参加希望なし

d 高校生天文講座(1コース10回、定員24名)

回数	月 日	内 容	参加人数
1	7月24日(土)	開講式とガイダンス、天体望遠鏡の使い方Ⅰ	22人
2	8月6日(金)	天体望遠鏡の使い方Ⅱ	—
3	8月28日(土)	天体観測法Ⅰ	—
4	9月11日(土)	天体観測法Ⅱ	—
5	10月2日(土)	天体観測法Ⅲ	19人
6	10月23日(土)	天体観測法Ⅳ	22人
7	11月6日(土)	天体観測法Ⅴ	16人
8	11月27日(土)	画像処理講座Ⅰ	14人
9	12月18日(土)	画像処理講座Ⅱ	15人
10	1月8日(土)	画像処理講座Ⅲ、振り返り会の資料作成	15人
11	2月5日(日)	振り返り会、修了式(18名修了)	—

※第2～4回、11回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

e 高校生科学ボランティア 登録71人 延べ24講座 161活動 510.5時間活動 活動証明書発行71人

実施日		内 容	参加人数 午前	参加人数 午後
1	6月20日(日)	オリエンテーション①	22人	22人
2	6月26日(土)	オリエンテーション②	13人	9人
3	7月14日(水)	オリエンテーション③		4人
4	7月17日(土)	オリエンテーション④		1人
5	7月23日(金)	顕微鏡で観察しよう 講座補助	3人	3人
6	7月24日(土)	音と光のふしぎ 講座補助	3人	3人
7	7月25日(日)	リレー科学教室(湯河原) 講座補助		4人
8	7月25日(日)	プチロボ(小田原) 講座補助		2人
9	7月31日(土)	ロボットプログラム 講座補助	4人	4人
10	10月9日(土)	ロボットプログラム 講座補助	4人	4人
11	10月16日(土)	ロボットプログラム 講座補助	3人	3人
12	10月24日(日)	プチロボ(厚木) 講座補助		2人
13	10月30日(土)	ロボットプログラム 講座補助	2人	3人
14	10月30日(土)	リレー科学教室(大和) 講座補助		4人
15	10月31日(日)	プチロボ(大和) 講座補助		3人
16	11月13日(土)	ゴムCARで競走しよう 講座補助		4人
17	11月14日(日)	プチロボ(川崎) 講座補助		3人
18	11月20日(土)	海の小さな生き物でつくる標本 講座補助		3人
19	11月27日(土)	電気と磁石のふしぎ 講座補助	3人	3人
20	11月28日(日)	ロボットプログラム 講座補助	3人	3人
21	12月4日(土)	ロボットプログラム 講座補助	2人	2人
22	12月5日(日)	自然観察会(野鳥) 講座補助		4人
23	12月11日(土)	プチロボ(横浜) 講座補助		3人
24	12月12日(日)	クリスマスリースをつくろう 講座補助		3人

f 高校生実験・実習講座

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- g カナラボ（先端科学企業体験会）  
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(イ) 科学体験指導者育成事業

- a おもしろ実験・科学工作指導者セミナー(各コース定員15人、5日間)

回数	水曜日コース	日曜日コース	内 容	参加人数
1	10月6日(水)	10月3日(日)	開講式、科学工作ワークショップ	6人
2	10月13日(水)	10月10日(日)	おもしろ実験ショーの練習	6人
3	10月20日(水)	10月31日(日)	おもしろ実験ショーの練習 プチロボ紹介	7人
4	11月3日(水)	11月7日(日)	講義：演技の仕方と表現法、練習	6人
5	11月10日(水)	11月14日(日)	発表に向けての練習・準備	6人

修了者 6人

緊急事態宣言発出のため実施時期をずらして開講

- b 天文研究クラブ（年間6回、定員15名）

	実施日	内 容	参加人数
1	5月8日(土)	天体観測、撮影方法研究、相互講評、情報交換等	7人
2	7月3日(土)	天体観測、撮影方法研究、相互講評、情報交換等	3人
3	9月4日(土)	天体観測、撮影方法研究、相互講評、情報交換等	—
4	11月20日(土)	天体観測、撮影方法研究、相互講評、情報交換等	7人
5	1月29日(土)	天体観測、撮影方法研究、相互講評、情報交換等	—
6	3月19日(土)	天体観測、撮影方法研究、相互講評、情報交換等	—

※3回、5～6回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(ウ) 理科教育人材育成事業

- a 教員研修科学講座（総合教育センター連携研修講座）

回数	月 日	内 容	参加人数
1	7月27日(火)	身近な生き物の観察	12人
2	7月28日(水)	ロボットプログラミング講座	14人
3	7月29日(木)	身近な素材で工作・実験（物理分野）	13人
4	7月30日(金)	授業に役立つ化学実験（安全な実験）	15人

- b 依頼型教員研修講座

回数	月 日	内 容	参加人数
1	6月22日(火)	大和市教育委員会教員研修①、実験安全、科学工作	—
2	6月25日(金)	大和市教育委員会教員研修②、実験安全、科学工作	—

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

c 小学校教員養成課程学生対象講座（大学連携支援事業）

回数	月 日	内 容	参加人数
1	2月10日(木)	鎌倉女子大学（小学校理科の実験講座）	10人

d 社会体験研修受入

内 容	内 訳	参加人数
現職教員社会体験研修	5年経験者研修 2日間	3人

(5)ホール等の運営

区分	事業名	概要	鑑賞(参加)対象	観客(参加者)数
<b>ア 共催・後援事業</b>				
	共催事業	青少年の健全育成や舞台芸術活動振興等の趣旨に適合し、共催することにより一層その成果を高めることができる事業を、共催者、後援者として実施する。	一般	3,135人
	後援事業		一般	261人
<b>イ ホール等の運営</b>				
	ホール、多目的プラザ及び練習室の貸出し	県民等が主催する演劇、舞踊、コンサート、講演会など、文化活動の発表の会場や、練習場所を提供する。	一般	31,447人

以下の事業は、平成 30 年度より文化課へ移管し、実施した。

**青少年や県民の舞台芸術活動への支援**

児童文化活動支援として、人形劇などの児童文化活動を行っているグループの成果発表や相互交流事業を実施し、また、青少年の舞台芸術活動と県民の芸術文化の振興を図るため、優れた舞台芸術（演劇、舞踊等）の鑑賞事業及び演劇・創作舞踊の講習会、発表会等の創造活動事業、「舞台表現エンパワーメント・プロジェクト」によるアウトリーチや少人数対象のワークショップ事業を実施した（一部中止）。

さらに、青少年センターにおける舞台芸術機能の強化・充実を図るため、平成 30 年度から開始した以下の取組みを実施した。

- ・マグカルシアターに出演が決定した団体等を対象に、演劇資料室や稽古場の提供を通して上演作品の質的向上を図る「マグカル劇場出演団体等の上演作品制作支援事業」を実施した。
- ・令和 3 年度から、マグカルシアターの上演団体に選出された団体の中から、特に優良な団体を対象としたステップアップ公演を実施した。
- ・青少年サポート課等とのクロスファンクション事業として、舞台芸術の手法を活かしたワークショップ（アウトリーチ）である「演劇活用青少年支援事業」は全て中止したが、上記事業の成果を広く発信する公演事業は予定どおり開催した。

また、伝統芸能等普及振興のため、歌舞伎鑑賞教室、人形浄瑠璃文楽、かながわ伝統文化こども歳時記を実施した。

その一方で、県民等が主催する演劇、舞踊、コンサート、講演会など、文化活動の発表の会場や練習場所を提供している。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響により、施設利用や主催事業を問わず、多くの取組みにおいて、中止、縮小、延期といった何らかの影響を受けた 1 年となった。ただ、そうした中であっても、コロナ禍での文化事業のノウハウの蓄積により、開催時期や場所の変更など、その時点で可能な開催に向けた臨機応変かつ粘り強い調整等により、舞台芸術に触れる機会そのものを断ち切るという選択肢を徐々に減らすことができた。

区分	事業名	概要	鑑賞(参加)対象	観客(参加者)数
<b>ウ 青少年舞台芸術活動推進事業</b>				
(ア) 児童文化活動推進事業	かながわ児童劇グループ交流会(かながわ人形劇フェスティバル)	地域で人形劇などの児童文化活動を行っているアマチュアグループに活動成果の発表と相互交流の場を提供するとともに、子どもたちに人形劇等の鑑賞の機会を提供した。	幼児・小学生、その保護者など	249人
(イ) 青少年舞台芸術等鑑賞事業	青少年芸術劇場	青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して舞台芸術に対する理解を深め、教養の向上を通じて豊かな人間性を育むとともに、県民に鑑賞する機会を提供し、舞台芸術の普及を図ることを目的に、演劇及び舞踊の鑑賞会を実施。	青少年及び一般	① 228人 ② オープンリハーサル参加34人
(ウ) 演劇舞踊等創造活動事業	中・高等学校演劇発表会	中・高等学校を対象に、演劇の発表会を実施。	中学生	805人
			高校生	449人
	中学校創作劇発表会	中学校を対象に、創作劇の発表会を実施。	中学生	ビデオによる審査
	中・高等学校演劇講習会	中・高等学校の生徒と教員を対象に、学校演劇における基礎的理論と実技を習得し、演劇発表に活用することを目的に、演出、演技、舞台技術、照明、音響等に係る総合的な創造方法を学習する機会を提供した。	教員	20人
			高校生及び教員	363人
	青少年ダンス発表会	表現芸術の充実と向上を図ることを目的に創作舞踊発表会を実施。	中学生以上及び教員	722人
	青少年ダンス講習会	青少年、教員等を対象に、ダンス創作の基礎的理論や創作方法の習得を目的に講習会を実施。	中学生以上及び教員	63人
	舞台芸術の創作活動を通してコミュニケーション力の向上を図る青少年支援事業	青少年サポート課とホール運営課が連携して実施してきた「演劇活用青少年支援事業」の集大成となる公演（「寄宿生活塾 はじめ塾×東京デスロック『Anti Human Education V - Teens Revenge Edit. -』」）を実施。	青少年、一般	128人
(エ) 学校演劇エンパワーメント・プロジェクト	演劇部実践指導塾「演劇部お助け講座」	中・高等学校の演劇部を対象に、演劇部の底上げを図るための実践的な講座を実施。	中学校の演劇部	79人
			高等学校の演劇部	22人
	青少年の舞台表現のためのスキルアップクラス	中高生向けの3つの先端的なワークショッププログラム（演出、舞台美術、ダンス振付）を実施することで、時代に合ったより実践的な支援内容を幅広く提供し、青少年による演劇・ダンスの創造活動の発展向上に資した。	中学生、高校生	75人
	ダンスの心技体+創	高校ダンス部対象のストリートダンスのワークショップを実施した。	高校ダンス部	25人

区分	事業名	概要	鑑賞(参加)対象	観客(参加者)数
<b>エ マグネット・カルチャー推進事業</b>				
(7) マグカルシアター	マグカルシアター「青少年のための芝居塾」	神奈川県演劇連盟に所属する担当劇団と広く一般から募った青少年が、キャストだけでなく舞台美術や照明、大道具・小道具から制作にいたるまで共に芝居づくりを行い、その成果をホール等で発表。	高校生～29歳以下の者	20人
	上記公演		一般	289人
	マグカルシアター	演劇等の公演を行いたい個人・団体に、公演場所としてスタジオHIKARI(多目的プラザ)を約1週間、施設・設備使用料を無料で提供することにより、有能な人材の発掘を目指した。	青少年、一般	2,584人
	マグカル・ハイスクール演劇フェスタ	「神奈川県高等学校演劇発表会」で最優秀賞など優れた成績を修めた高校演劇を上演し、広く県民に紹介することで、学校演劇の発展向上と演劇文化の振興に資した。	青少年、一般	177人
(4) パフォーミングアーツ人材育成事業	マグカル・パフォーミングアーツ・アカデミー	マグカル事業の核となる舞台芸術人材を育成するため、歌、ダンス、演技の実践を学ぶアカデミーを実施。	16歳以上26歳以下の者	64人
<b>オ 青少年舞台芸術活動推進事業 (機能強化)</b>				
(7) マグカルシアター出演団体等の上演作品制作支援事業		マグカルシアターに出演が決定した団体等を対象に、演劇資料室や稽古場の提供を通して作品制作に関する課題解決を支援し、上演作品の質的向上を図った。	マグカルシアターに出演が決定した団体等	142団体 1,173人
(4) ステップアップ公演事業		マグカルシアター上演団体に代表される若手の舞台芸術団体のうち、将来的に鑑賞事業としてのクオリティに耐えられる作品を制作するステップアップのための公演の機会を提供するとともに、青少年が優れた舞台芸術作品に触れる機会を提供した。	青少年、一般	124人 配信視聴者 210人
<b>カ 伝統芸能等普及振興事業</b>				
(7) かながわ伝統芸能祭	歌舞伎鑑賞教室	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、歌舞伎を上演した。	青少年、一般	718人
	人形浄瑠璃文楽	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、人形浄瑠璃文楽を上演した。	青少年、一般	754人

区分	事業名	概要	鑑賞(参加)対象	観客(参加者)数
	かながわ伝統文化こども歳時記	地域の伝統文化に親しんでいただくことを目的に、子どもや親子を対象として体験型の企画を盛り込んだフェスティバル事業を実施した。	子ども、青少年、一般	・ホール公演 観覧者数： 【第1部】 247人、【第2部】185人 ・体験コーナー参加者数： 220人

各事業の内容は次のとおりである。

## ア 共催、後援事業

青少年の健全育成や舞台芸術活動振興等の趣旨に適合し、青少年センターが共催、後援することにより、一層その成果を高めることができる次の事業を、共催者、後援者として実施した。

### (ア) 共催事業

実施日	事業名	主催者	観客 (参加者)数
6月13日(日)	第59回神奈川県高等学校総合体育大会 第30回神奈川県高等学校ダンスコンク ール	神奈川県高等学校体育 連盟	1,451人
7月29日(木)	舞台技術講習会	神奈川県高等学校文化 連盟演劇専門部	168人
8月12日(木) ～15日(日)	東京2020 NIPPON フェスティバル [共 生社会の実現に向けて] ONE -Our New Episode- Presented by Japan Airlines Our Glorious Future ～KANAGAWA 2021～カガヤク ミライ ガ ミエル カ ナガワ 2021	神奈川県文化課	無観客・オ ンライン配 信
9月4日(土)	令和3年度 不登校児童・生徒、高校 中退者等のための不登校相談会・進路 情報説明会(※1)	神奈川県学校・フリー スクール等連携協議会 神奈川県教育委員会 横浜子ども支援協議会	75人
9月8日(水) ～14日(火)	横浜市立学校総合文化祭 第67回横浜 市立中学校生徒科学作品展(※2)	横浜市中学校教育研究 会理科部会	125人
11月7日(日)	神奈川県高等学校総合文化祭 第32回 高等学校理科部研究発表大会(※2)	神奈川県高等学校文化 連盟理科専門部会	79人
11月20日(土)	ROBO-ONE 剣道、ROBO-剣(※2)	一般社団法人二足歩行 ロボット協会	45人
11月26日(金) ～28日(日)	第21回手づくり紙芝居コンクール	紙芝居文化推進協議会	296人
11月28日(日)	第56回神奈川県名流邦舞祭	(公社)日本舞踊協会神 奈川県支部	474人
1月29日(土)	第60回神奈川県児童福祉施設作品展	神奈川県児童福祉文化 体育協会	28人
3月12日(土) ～13日(日)	2021年度 TAK 合同公演	神奈川県演劇連盟	437人
3月21日(月・祝)	かながわ能楽ワークショップ	神奈川県、(公財)鎌 倉能舞台	32人

※1：青少年サポート課関連事業

※2：科学部関連事業

(イ) 後援事業

実施日	事業名	主催者	観客 (参加者)数
令和3年4月18日 (日)～令和4年3 月6日(日)	青少年のための日本舞踊講座	(公社)日本舞踊協会神 奈川県支部	261人

イ ホール等の運営

県民等が主催する演劇、舞踊、コンサート、講演会など、文化活動の発表の会場や、練習場所を提供した。

利用者の状況（主催、共催事業を除く。）

(単位：人)

区分	演劇関係	舞踊関係	音楽関係	講演・式典等	計
ホール	4,312	15,497	1,677	7,065	28,551
多目的プラザ	184	1,140	0	13	1,337
練習室	0	1,543	16	0	1,559
合計	4,496	18,180	1,693	7,078	31,447

以下の事業は、文化課へと移管され実施されている。

ウ 青少年舞台芸術活動推進事業

(7) 児童文化活動推進事業

児童の豊かな情操と想像力を育む事業を実施し、児童文化活動の促進を図った。

かながわ児童劇グループ交流会（かながわ人形劇フェスティバル）

地域で人形劇などの児童文化活動を行っているアマチュアグループに活動成果の発表と相互交流の場を提供するとともに、子どもたちに人形劇等の鑑賞の機会を提供した。

月日	内容・講師等	対象	回数	参加者数
2月26日(土) ～27日(日)	第38回かながわ人形劇フェスティバル 人形劇「アヒルとキツネ」 他8演目 出演：9団体 講師：月永 勉（デザインルーム美研主宰） 川尻 麻美夏（人形劇団ブーク 俳優）	幼児・小学生、 その保護者など 申込者	4回	249人

(イ) 青少年舞台芸術等鑑賞事業

青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して舞台芸術に対する理解を深め、教養の向上を通じて豊かな人間性を育むとともに、県民に鑑賞する機会を提供し、舞台芸術の普及を図ることを目的に、青少年芸術劇場を実施した（会場：スタジオ HIKARI）。

月 日	内 容 ・ 講 師 等	対 象	参加者数
7月2日(金)～4日(日) 【5回公演】 ※オープンリハーサル： 6月23日(水)	第306回神奈川県青少年芸術劇場 OrganWorks『WOLF』 作・演出・振付・脚本・美術：平原慎太郎 出演：OrganWorks ほか 【関連企画】学生対象オープンリハーサル 会場：紅葉坂ホール	青少年 及び一般	公演：228人 オープンリハー サル：34人

#### (ウ) 演劇舞踊等創造活動事業

青少年が日頃行っている芸術創造活動の成果を発表する場を提供するほか、創造活動を支援するための講習会を開催するとともに、演劇指導者を対象に、演劇を制作する過程で必要なノウハウを習得する機会を提供した。

##### a 中・高等学校演劇発表会

月 日	内 容 ・ 講 師 等	対 象	参加者数
12月4日(土) 5日(日)	第59回神奈川県中学校演劇発表会 出演：県内中学校14校 講師：井上 学(劇作家・演出家) 山下 秀光(表現教育インストラクター) 古谷 泰三(県立神奈川総合高校総括教諭)	中学生	805人
11月13日(土) 14日(日)	第60回神奈川県高等学校演劇発表会 出演：県内6地区代表13校 講師：瀧川 真澄(LABO!俳優、プロデューサー) 黒澤 世莉(演出家) 須崎 幸彦(高校演劇指導者 元広島市立舟入高等学校演劇部顧問)	高校生	449人

##### b 中学校創作劇発表会

月 日	内 容 ・ 講 師 等	対 象	参加者数
9月20日 (月・祝)	第16回神奈川県中学校創作劇発表会 出演：6校 講師：斉藤 俊雄(劇作家・久喜市立太東中学校教諭) 山下 秀光(表現教育インストラクター)	中学生	ビデオによる審査

##### c 中・高等学校演劇講習会

中・高等学校の生徒と教員を対象に、学校演劇における基礎的理論と実技を習得し、演劇発表に活用することを目的に、演出、演技、舞台技術、照明、音響等に係る総合的な創造方法を学習する機会を提供した。

月 日	内 容 ・ 講 師 等	対 象	参加者数
9月19日(日)	第57回神奈川県中学校演劇講習会 ・大道具制作、ダンス、即興、脚本づくり、グループ創作、アクション及び意見交換	中学生	参加20校 教員のみ 20人
7月30日(金) 31日(土)	第57回神奈川県高等学校演劇講習会 ・参加43校 ・身体表現の基礎的なワークショップ(同内容を2日間で4回実施)	高校生	363人

d 青少年ダンス発表会

表現芸術の充実と向上を図ることを目的にダンス発表会を実施した。

月 日	内 容 等	対 象	参加者数
10月31日(日)	第56回神奈川県青少年ダンス発表会 出演者：中・高等学校・大学等29校(団体)	中学生以上 及び教員	722人 (無観客 LIVE配信)

e 青少年ダンス講習会

青少年、教員等を対象に、ダンス創作の基礎的理論や創作方法の習得を目的に講習会を実施した。

月 日	内 容 等	対 象	参加者数
8月10日(火) ・11日(水)	第47回神奈川県青少年ダンス講習会 ・講師：山田うん(振付家・ダンサー) ・北尾 亘(振付家・ダンサー・俳優) (同内容を2日間で4回実施)	中学生以上 及び教員	63人

f 舞台芸術の創作活動を通してコミュニケーション力の向上を図る青少年支援事業

青少年センターのクロスファンクショナル事業である「舞台芸術活用青少年支援事業」の成果を「公演」という形で発信する取組みとして、「寄宿生活塾 はじめ塾×東京デスロック『Anti Human Education V-Teens Revenge Edit.-』」をスタジオHIKARIで上演した。

日 程	内 容 等	対 象	観客数
稽古：5月～7月に10回(青少年C・小田原市内) 本番：7月17日(土)・18日(日)2回公演	公演名：「寄宿生活塾はじめ塾×東京デスロック『Anti Human Education V-Teens Revenge Edit.-』」 演出：多田淳之介(演出家、東京デスロック主宰) 出演：フリースクール「寄宿生活塾 はじめ塾」塾生23名(小4～高3)、東京デスロック俳優5名	青少年、一般	128人

(I) 舞台表現エンパワーメント・プロジェクト

これまでの中高生向けの講習会や発表会でのプログラムを補完するプログラムを、第一線で活躍する講師陣により開催した。一部プログラムをアウトリーチ(県域)で実施した。

a 演劇部実践指導塾「演劇部お助け講座」

中・高等学校の演劇部を対象に、演劇部の底上げを図るための実践的な講座を実施した。

月 日	内 容 ・ 講 師 等	場 所	対 象	参加者数
1月15日(土)	演劇部お助け講座(中学生対象) 講師：特定非営利活動法人演劇百貨店所属講師	学校法人桐光学園	中学校の演劇部	61人
3月24日(木)	演劇部お助け講座(中学生対象) 講師：特定非営利活動法人演劇百貨店所属講師	平塚市立江陽中学校		18人
3月23日(水)	演劇部お助け講座(高校生対象) 講師：特定非営利活動法人演劇百貨店所属講師	県立平塚中等教育学校	高等学校の演劇部	22人

b 青少年の舞台表現のためのスキルアップクラス

地域や時代のニーズに合せた先端的なプログラムをアウトリーチとインリーチで実施した。

月 日	内 容 ・ 講 師 等	対 象	参加者数
1月10日(月・祝) ① 9:30~12:30 ② 13:30 ~ 16:30 ※①②は同内容	【演出コース(高校生対象)】 講師：大澤遊(演出家)ほか2名 会場：青少年センタースタジオHIKARI	高校生・ 顧問	31人 (うち顧問 11人)
3月13日(日)10:30 ~16:00 ※2月19日(土)~20 日から延期・縮小	【ダンス編】 座学に加え、身体の動かし方からグループでの創作まで行 った。 講師：平原慎太郎(ダンサー・振付家・ダンスカンパニー OrganWorks主宰) サブ講師：小松睦・池上たつくん・村井玲美(以上、 OrganWorks所属ダンサー) 会場：県立スポーツセンター多目的フロア2 ※茅ヶ崎市総合体育館オーケスト練習室から変更	高校生・ 大学生	27人 (うち顧問 1人)
3月29日(火) ※3月5日(土)から 延期	【舞台美術編】 講師：伊藤雅子(舞台美術家) 会場：青少年センター紅葉坂ホール	中学生・ 高校生	17人 (うち顧問 1人)

c ダンスの心技体+創

ストリートダンスに取り組む高校生向けにジャズのワークショップを実施した。

月 日	内 容 ・ 講 師 等	対 象	参加者数
3月20日(日)	講師：suzuyaka、YOHMAR 会場：青少年センター練習室 参加校：2校	高校生	25名 (うち顧問 2人)

エ マグネット・カルチャー推進事業

「若者がいつでも、自らの才能を発揮でき、有能な人材を発掘できる場」として、若者文化の開放区  
をめざすための事業を実施した。

(7) マグカルシアター

a 青少年のための芝居塾

月 日	ジャンル	出演団体	演 目	公演(練 習)回数	観客(参 加者)数
5月~8月	演劇	青少年のための芝居塾 塾生ほか	青少年のための 芝居塾2021公演 「ギンテツ」	8公演	289人 (うち塾 生等25 人)

b マグカルシアター

月 日	ジャンル	出演団体	演目	公演数	観客数
4月14日(水) ~18日(日)	演劇	劇団スクランブル	「Let's split」 <sup>*</sup>	8回	241人
4月20日(火) ~25日(日)	演劇	無目的	「未定」	辞退	

月 日	ジャンル	出演団体	演目	公演数	観客数
4月27日(火) ～5月2日(日)	演劇	夜となく	「未定」	辞退	
5月3日(月) ～9日(日)	演劇	敷地理	—	—	無観客 配信
5月12日(水) ～16日(日)	演劇	PUNKBANK	「未定」	中止	
5月20日(木) ～23日(日)	演劇	乙戯社	「喪服、緋色の。」	6回	283人
5月25日(火) ～30日(日)	演劇	プラスチックな月	「未定」	中止	
6月3日(木) ～6月6日(日)	演劇	劇団天の河神社	「今、この胸から溢れ出す青春を」	6回	259人
6月18日(金) ～20日(日)	ダンス	中村蓉	「ジゼル」	4回	165人
6月25日(金) ～27日(日)	演劇	演劇プロデュース 『螺旋階段』	「廻る座椅子で夢を見る」	4回	232人
7月8日(木) ～11日(日)	演劇	水中めがね∞	水中めがね∞プロデュース	6回	310人
7月21日(水) ～23日(金)	演劇	DANCETERIA-ANNEX	「Le Rayon Vert (緑閃光)」	6回	162人
8月17日(火) ～19日(木)	演劇	TEAM IMITATION	「ジャングル・ジャンクション」	中止	
9月2日(木) ～5日(日)	演劇	Juggling ピントクル	ジャグリング公演「フニオチル その2」	2回	無観客 配信
9月19日(日) ～24日(金)	演劇	ルサンチカ	WILD THINGS	8回	98人
9月28日(火) ～10月1日(金)	演劇	劇団三日月座	「未定」	中止	
10月15日(金) ～17日(日)	演劇	妖精大図鑑	YOKOHAMA Ammonaite Night	6回	235人
10月21日(木) ～22日(金)	演劇	劇団820製作所	吸血鬼との共存	3回	83人
11月2日(火) ～5日(金)	演劇	ヘアピン倶楽部	やさしいふりをしてるだけ	5回	86人
11月10日(水) ～12日(金)	演劇	エンニューイ	無表情な日常、感情的な 毎秒 11月公演	5回	22人
11月15日(月) ～18日(木)	演劇	MerryCreation合同会社	「未定」	中止	
11月22日(月) ～25日(木)	演劇	北口改札	「未定」	中止	
11月29日(月) ～12月3日(金)	演劇	アーバン野蛮人	「未定」	中止	
12月9日(木) ～12日(日)	演劇	ジョン・スミスと探る演劇	「未定」	中止	

月 日	ジャンル	出演団体	演目	公演数	観客数
12月16日(木) ～19日(日)	演劇	OKAMI企画	ヨコハマ学生演劇フェス 2021	4回	174人
1月14日(金) ～15日(土)	演劇	ヒカル、劇団天の河 神社	いのり/静寂の街を抱きし めて	4回	108人
2月1日(火) ～6日(日)	演劇	モメラス M <sup>2</sup>	「未定」	中止	
2月11日(金・祝)	演劇	青の素	雨上がりには好きだとい って(1月編)	2回	126人
3月3日(木) ～6日(日)	演劇	ていっしゅ	「未定」	中止	
3月15日(火) ～20日(日)	ダンス	INOUE DANCE OFFICE	「未定」	中止	

c マグカル・ハイスクール演劇フェスタ

月 日	ジャンル	出演団体	出演校 (団体)数	観客数
12月19日(日)	高校演劇	神奈川総合高等学校 岸根高等学校	2校	177人
3月25日(金) ～31日(木)	高校演劇	春の高校演劇フェスティバル(横浜地 区)	23校(団体)	548人

(イ) パフォーミングアーツ人材育成事業

a マグカル・パフォーミングアーツ・アカデミー

月 日	内 容	講習回数	参加者数
4月1日(木) ～3月31日(木)	マグカル事業の核となる舞台芸術人材を育成するた め、歌、ダンス、演技の実践を学ぶアカデミーを実施 する。	78回	64人

オ 青少年舞台芸術活動推進事業(機能強化)

舞台づくり機会の充実を図るため、青少年センターの施設機能を活かした「マグカルシアター」の出演団体への支援事業を行うとともに、青少年に優れた舞台芸術作品に触れる機会を提供した。

(ア) マグカルマグネット・カルチャー推進強化事業

a マグカル劇場出演団体等の上演作品制作支援事業

月 日	内 容 等	支援内容	累計
通年	マグカルシアターに出演が決定し た団体等を対象に、演劇資料室や稽 古場の提供を通して作品制作に関 する課題解決を支援し、上演作品の 質的向上を図る。	研修室の稽古場利用団体数 及び利用人数	142団体 1,173人
		演劇資料室の夜間利用者数	408人

**b ステップアップ公演事業（会場：スタジオHIKARI）**

月 日	内 容 等	演 目	累 計
12月24日（金） ～26日（日）	マグカルシアター上演団体に代表される若手の舞台芸術団体のうち、将来的に鑑賞事業としてのクオリティに耐えられる作品を制作するステップアップのための公演の機会を提供するとともに、青少年が優れた舞台芸術作品に触れる機会を提供する。	趣向 「パンとバラで退屈を飾って、わたしが明日も生きることを耐える。」	124人 配信視聴者210人

**カ 伝統芸能等普及振興事業**

我が国を代表する古典芸能や、地域で継承されている民俗芸能等を広く県民に紹介することにより、伝統文化への理解を深め、伝統文化の継承、発展への気運を醸成するため、多彩な伝統芸能の上演を行った。

**(7) かながわ伝統芸能祭**

**a 歌舞伎鑑賞教室**

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、客席を50%以下に制限して実施した。

月 日	内 容 等	対 象	観客数
6月25日（金） ～26日（土） 計4回公演	演目：解説「歌舞伎のみかた」 人情噺文七元結 出演者：尾上 松緑、中村 扇雀、坂東 亀蔵、中村種之助 坂東 新悟、市川 團蔵 ほか	青少年・ 一般	718人

**b 人形浄瑠璃文楽**

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、客席を50%以下に制限して実施した。

月 日	内 容 等	対 象	観客数
10月17日（日） 2回公演	【昼の部】 解説（あらすじ） 「一谷嫩軍記」熊谷桜の段・熊谷陣屋の段 【夜の部】 解説（あらすじ） 「曾根崎心中」生玉社前の段・天満屋の段・天神森の段	青少年・ 一般	754人

**c かながわ伝統文化こども歳時記**

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響で、実施を延期し、規模を縮小して実施した。

月 日	出演団体等	対 象	視聴回数
2月11日 （金・祝） 13:00～17:30 ※8月14日から延期	【第1部】 ①「二人三番叟」（ひとみ座乙女文楽 修了生の会） ②「寿獅子・両面踊り」（相模里神楽垣澤社中） ③「相模のささら踊り」（愛甲ささら、長谷ささら、秦野ささらの各保存会） ※事前収録した保存会インタビューや過去映像を上映	子ども・青少年・ 一般	・ホール公演観覧者数：【第1部】247人、【第2部】185人 ・体験コーナー参加者数：220

	<p>④「SASARA」(CHAIROIPLIN)</p> <p><b>【第2部】</b></p> <p>「伝統芸能でめぐる&lt;かながわの名勝&gt;「江の島物語」」</p> <p>①講談(宝井琴鶴)</p> <p>②山田流箏曲「江の島」(田中奈央一 他)</p> <p>③創作「江野島」(琵琶:藤高理恵子、胡弓:木場大輔)</p> <p>④半能「江野島」(中森貫太)</p> <p><b>【体験コーナー】</b></p> <p>①江戸木版画摺り体験(東京 高橋工房)</p> <p>②「相州神輿」の解説等(今宿松尾大神神輿保存会)</p> <p>③「片瀬こま」の体験(片瀬こま保存会)</p> <p>④かながわの民話を紙芝居で紹介(紙芝居文化推進協議会)</p> <p>※当初の会場は紅葉坂ホール・スタジオHIKARI、横浜能楽堂本舞台だったが、延期後に紅葉坂ホールに集約して実施</p>		人
--	---	--	---